

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		土木総務一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155001000 - 001		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	土木交通部土木総務課				
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5031				
	目	土木総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	土木総務一般事務事業		根拠法令・要綱等	道路法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-2 交通体系の構築			委託		指定管理		
個別計画									
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	市道、組織								
事業の内容	意図（どういう状態にしたいのか）								
	市道の認定及び維持管理等を適正に実施する。 部・課内の円滑な調整を図る。								
<p>○道路事業による新設道路等の市道認定 認定市道の延長 平成21年度 4,815m 平成22年度 2,956m 平成23年度 11,811m 平成24年度 3,791m 平成25年度 2,492m 平成26年度 4,000m(予定)</p> <p>○認定市道の総延長 615,814m(平成26年4月1日現在)</p> <p>○部内の調整及び課内の庶務</p>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
24決算	531	28,580	29,111	0	0	0	29,111	正規	1.90	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00	
25当初予算	699	24,440	25,139	0	0	0	25,139	再任用	0.20	その他	0.00	
25決算	378	24,440	24,818	0	0	0	24,818	任期付	0.60	合計	2.70	
26当初予算	616	17,820	18,436	0	0	0	18,436					
25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額					
	旅費	関係機関等出張旅費	87		旅費	関係機関等出張旅費	120					
	需用費	消耗品費等(事務用品、作業着等)	266		需用費	消耗品費等(事務用品、作業着等)	421					
	その他		25		その他		75					
合計			378	合計			616					

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155001000-001	事務事業名	土木総務一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	認定市道の延長	毎年、認定要件の整った道路の市道認定を行う	m	3,791	2,492	4,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
道路法に規定された事務等であり現行のまま継続する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	道路台帳整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155001000 - 002		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	道路橋りょう費	<b>事業所管課</b>	土木交通部土木総務課			
	<b>目</b>	道路橋りょう総務費	<b>連絡先</b>	(078)918-5031			
	<b>事業</b>	道路台帳整備事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法				
	5-2 交通体系の構築	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他
<b>個別計画</b>			委託	○	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	道路台帳
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	台帳を整備し、道路管理の基礎資料とする。

<b>事業内容</b>	○道路台帳の作成	
	認定市道の路線数 平成22年3月31日現在 2,720路線 平成23年3月31日現在 2,756路線 平成24年3月31日現在 2,823路線 平成25年3月31日現在 2,863路線 平成26年3月31日現在 2,887路線 平成27年3月31日現在 2,917路線(予定)	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	10,183	16,660	26,843	0	0	0	26,843	正規	1.80	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	14,530	18,630	33,160	0	0	0	33,160				
25決算	13,348	18,630	31,978	0	0	0	31,978	再任用	0.20	その他	0.00
26当初予算	12,970	17,000	29,970	0	0	0	29,970	任期付	0.60	合計	2.60

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	関係機関等出張旅費		4		旅費
	需用費	消耗品費(事務用品)	9		需用費	消耗品費(事務用品)	10
	委託料	道路台帳整備	13,335		委託料	道路台帳整備	12,940
	<b>合計</b>		13,348		<b>合計</b>		12,970

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155001000-002	事務事業名	道路台帳整備事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
毎年、新規に認定された市道等を追加して最新の台帳を作成している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
道路法に規定された事務等であり現行のまま継続する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	道路管理(一般)事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155001000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	土木費						
	<b>項</b>	道路橋りょう費						
	<b>目</b>	道路橋りょう総務費						
	<b>事業</b>	道路管理事務事業						
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業所管課</b>	土木交通部土木総務課				
	5-2 交通体系の構築			<b>連絡先</b>	(078)918-5031			
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>		自治事務		<b>開始年度</b>	不明
				<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法、国家賠償法等、国有財産特別措置法等			
		<b>実施方法</b>	直営		<input type="radio"/>	補助・助成		その他
			委託	<input type="radio"/>	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>	道路、道路用地、里道、街区基準点
	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>	土地(民有地及び市道路用地)の境界を明確にするとともに、市道上での万一の事故に備え、道路管理に万全を期す。道路用地を確定するとともに、国から必要な里道の譲与を受け、街区基準点の管理を行う。

<b>事業内容</b>	○道路境界明示 平成22年度 232件 平成23年度 295件 平成24年度 245件 平成25年度 281件 平成26年度 300件(予定)
	○測量等により道路用地を確定させる。 ○法定外公共物図書の修正を行う。
	○道路保険加入 ○道路上の事故に対する損害賠償金の支払い 平成22年度 2件 平成23年度 1件 平成24年度 0件 平成25年度 3件
	○保険金の請求 平成22年度 2件 平成23年度 1件 平成24年度 0件 平成25年度 3件
	○専門研修参加

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	2,162	18,600	20,762	0	0	0	20,762	正規	2.00	パート	0.00
25当初予算	3,759	24,440	28,199	0	0	2,077	26,122	再任用	0.20	その他	0.00
25決算	2,079	24,440	26,519	0	0	0	26,519	任期付	0.40	合計	2.60
26当初予算	3,785	18,120	21,905	0	0	1,873	20,032				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修・関係機関等出張旅費	7		26年度当初予算事業費明細	旅費	研修・関係機関等出張旅費
需用費	消耗品費等(明示版、事務用品、システム修繕費等)	363	需用費	消耗品費等(明示版、事務用品、システム修繕費等)	432		
役務費	道路保険	1,036	役務費	道路保険	963		
委託料	図書修正業務等	395	委託料	図書修正業務等	1,000		
負担金補助及び交付金	研修参加費	20	負担金補助及び交付金	研修参加費	200		
補償補填及び賠償金	損害賠償金	258	補償補填及び賠償金	損害賠償金	1,000		
<b>合計</b>			2,079	<b>合計</b>			3,785

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155001000-003	事務事業名	道路管理(一般)事務事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	損害賠償金の支払件数	適正な道路管理を行うことにより、支払件数の減少を図る。	件	0	3	2
	<b>指標で表せない成果</b>					
土地所有者からの申請により、効率的に境界明示を行っている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
現在、効率的に事務を行っており、現行のまま継続する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	地籍調査事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155001000 - 004				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計							
	<b>款</b>	土木費							
	<b>項</b>	道路橋りょう費							
	<b>目</b>	道路橋りょう総務費							
	<b>事業</b>	地籍調査事務事業							
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	5-2 交通体系の構築		<b>事業所管課</b>	土木交通部土木総務課					
<b>個別計画</b>			<b>連絡先</b>	(078)918-5031					
			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 21 年度			
			<b>根拠法令・要綱等</b>	国土調査法等					
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
				委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	土地
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	道路・水路等の公共用地と民地との境界を明確にする。

<b>事業内容</b>	○地籍調査【官民境界等先行調査】	
	・官民及び官官境界筆界点の調査及び測量を実施し、街区調査図を作成する。 実施箇所 平成22年度 沢野2丁目 0.06km <sup>2</sup> 平成23年度 西明石北町1丁目の一部、2丁目 0.07km <sup>2</sup> 平成24年度 西明石北町3丁目 0.06km <sup>2</sup> 平成25年度 藤が丘1丁目 0.07km <sup>2</sup> 平成26年度 藤が丘2丁目 0.07km <sup>2</sup> (予定)	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	2,646	17,760	20,406	0	0	0	20,406	正規	1.20	パート	0.00
25当初予算	7,170	15,310	22,480	5,250	0	0	17,230	再任用	0.20	その他	0.00
25決算	3,797	15,310	19,107	0	0	0	19,107	任期付	0.20	合計	1.60
26当初予算	7,328	11,040	18,368	5,425	0	0	12,943				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	研修・関係機関出張旅費	30		24		
需用費	消耗品費等(事務用品、書籍)	2	10				
委託料	地籍調査業務	3,675	7,200				
負担金補助及び交付金	国土調査推進協議会年会費	90	94				
<b>合計</b>			3,797	<b>合計</b>			7,328

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155001000-004	事務事業名	地籍調査事務事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	調査面積	未調査区域について計画的に調査を行う。	km <sup>2</sup>	0.06	0.07	0.07
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
現在、効率的に事務を行っており、現行のまま継続する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	未登記道路整理事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155001000 - 005				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	土木費							
	<b>項</b>	道路橋りょう費	<b>事業所管課</b>	土木交通部土木総務課					
	<b>目</b>	道路橋りょう総務費	<b>連絡先</b>	(078)918-5031					
	<b>事業</b>	未登記道路整理事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 25 年度			
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野 5-2 交通体系の構築	<b>根拠法令・要綱等</b>							
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
				委託	<input type="radio"/>	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市道内にある、登記簿上明石市以外の名義となっている土地
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	測量・分筆等するとともに、寄附や買収により、市に所有権移転登記を行う。
<b>事業内容</b>	<p>1 次の①～③の場合は寄附、それ以外の場合は買収により解決を図る。</p> <p>①寄附を希望される場合 ②過去に市が買収・寄附等により権原を取得している場合 ③土地が非課税の場合</p> <p>2 買収の場合は、基本宅地価格の10%で算定する。</p> <p>3 未登記道路を含む民有地の確定測量費用は、所有者が負担。地積更正・分筆、所有権移転費用は市負担とする。</p> <p>○実績 平成25年度 寄附 4件 (154.85㎡) 買収 1件 (11.71㎡)</p>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	0	0	0	0	0	0				
25当初予算	3,080	14,480	17,560	0	0	0	17,560	正規	1.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	710	14,480	15,190	0	0	0	15,190	再任用	0.20	その他	0.00
26当初予算	2,536	10,220	12,756	0	0	0	12,756	任期付	0.20	合計	1.50

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	立会等協力者への謝礼	28		報償費	立会等協力者への謝礼	70
旅費	用地交渉等旅費	0	旅費	用地交渉等旅費	66		
委託料	測量・分筆委託	617	委託料	測量・分筆委託	1,500		
公有財産購入費	用地買収費用	65	公有財産購入費	用地買収費用	900		
<b>合計</b>			710	<b>合計</b>			2,536

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155001000-005	事務事業名	未登記道路整理事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	所有権移転登記	未登記道路の権原を取得することにより、市道を適正に管理する。	件	—	5	5
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市道の適正な管理のため、必要・不可欠。現在、効率的に事務を行っており、現行のまま継続する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		街路灯新設・維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155002000 - 001				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容							
	款	土木費		事業所管課	土木交通部道路管理課						
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5033						
	目	街路灯費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明				
	事業	街路灯新設・維持管理事業		根拠法令・要綱等	道路法第42条、45条、道路の維持修繕管理要領について(昭和37年8月28日道発368号道路局長通達ほか						
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成			その他	
		5-2 交通体系の構築			委託	○	指定管理				
個別計画											
事業の目的	対象(誰を・何を)										
	市管理の街路灯										
事業の目的	意図(どういう状態にしたいのか)										
	街路灯を設置するとともに適正に維持管理することにより、夜間における市民の通行の安全確保を図る。										
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路灯は、道路利用者の夜間安全確保のため必要であり、平成26年4月現在で、市内約19,000灯を管理している。</li> <li>・事業としては、毎年約150灯の新設、既設街路灯の球換え、器具の改修、電気料金の支払いを行っている。</li> <li>・街路灯の設置については、地元自治会からの要望に基づき、必要性や設置の可否を判断し対応している。</li> <li>・定期的に夜間パトロールを実施して球切れや器具の破損具合を調査するとともに、市民からの球切れの通報に速やかに対応している。</li> </ul>										

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	170,448	5,248	175,696	1,650	1,200	0	172,846	正規	0.22	パート	0.00
25当初予算	165,931	5,226	171,157	0	0	0	171,157	再任用	1.00	その他	0.00
25決算	170,063	5,226	175,289	30,664	0	0	144,625	任期付	0.20	合計	1.42
26当初予算	177,714	5,724	183,438	0	0	0	183,438				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		旅費	近接地内旅費		7		旅費
	需用費	消耗品費、印刷製本費(シール)、修繕料、光熱水費	102,257		需用費	消耗品費、印刷製本費(シール)、修繕料、光熱水費	108,704
	工事請負費	街路灯新設・取替工事	67,799		工事請負費	街路灯新設・取替工事	69,000
	合計		170,063		合計		177,714

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155002000-001	事務事業名	街路灯新設・維持管理事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	自治会からの街路灯新設要望に対する対応状況	自治会からの街路灯新設要望に対する対応状況を指標とする。 (新設件数/各自治会からの要望件数)	%	90	90	90
	市民等からのランプ切れ通報に対する対応状況	市民等からのランプ切れ通報に対する対応状況を指標とする。 (ランプ取替え件数/通報の件数)	%	100	100	100
<b>指標で表せない成果</b>						
街路灯を維持管理することにより、夜間における道路通行の安全と犯罪の防止に繋がり、道路本体の維持補修に次いで、安全・安心への貢献度は高い。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題としては、街路灯維持管理のさらなる効率化を行い、電気料金の値上げを吸収することがあげられる。</li> <li>・今後の事業展開方針は、街路灯について水銀灯から環境配慮型照明器具(LED照明器具)へ積極的に転換していくことにより、過剰に使用していたエネルギーを削減し、環境負荷の低減に取り組んでいくことである。</li> </ul>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	屋外広告物簡易除却事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155002000 - 002		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費	<b>事業所管課</b>	土木交通部道路管理課			
	<b>項</b>	道路橋りょう費	<b>連絡先</b>	(078)918-5033			
	<b>目</b>	道路橋りょう総務費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 5 年度	
	<b>事業</b>	屋外広告物簡易除却事務事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	兵庫県屋外広告物条例			
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野 5-2 交通体系の構築	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他
<b>個別計画</b>			委託	<input type="radio"/>	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	道路上の違反広告物
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	撤去して美化することで道路環境の向上を図る。

<b>事業内容</b>	①県条例に基づき、市内道路に無許可で放置された屋外広告物を撤去する。 ②一定期間保管した後、広告物の持ち主から申し出の無いものについては、市で処分する。 申し出のあったものについては、誓約書を提出させ返却する。 ③県交付金を財源としている。（都市整備部所管）
-------------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	6,985	1,848	8,833	7,199	0	0	1,634	正規	0.37	パート	0.00
25当初予算	6,985	1,826	8,811	7,017	0	0	1,794	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	6,964	1,826	8,790	7,017	0	0	1,773	任期付	0.10	合計	0.47
26当初予算	7,018	3,294	10,312	7,069	0	0	3,243				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地内旅費	3		4		
需用費	消耗品費、食糧費	6	15				
委託料	屋外広告物除去業務委託	6,955	6,999				
	<b>合計</b>		6,964	<b>合計</b>		7,018	

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155002000-002	事務事業名	屋外広告物簡易除却事務事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	看板等違反広告物撤去数	市道上の無許可設置看板の撤去数	枚	13,924	4,461	8,000
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>引き続き、現在の事業を継続する。                      なお、中核市になれば、簡易除却だけではなく、屋外広告法に規定する県の業務を市がすべて行うことになり、県交付金はなくなることとなる。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	道路占用事務事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0155002000 - 003						
				分割/統合									
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容								
	款	土木費			事業所管課			土木交通部道路管理課					
	項	道路橋りょう費			連絡先			(078)918-5033					
	目	道路橋りょう総務費			自治/法定			自治事務		開始年度 昭和 28 年度			
	事業	道路占用事務事業			根拠法令・要綱等			道路法第32条～第41条、第43条、第44条の2					
施策分野		5 都市基盤整備分野			実施方法			直営		○ 補助・助成		その他	
個別計画		5-2 交通体系の構築						委託		○ 指定管理			

事業の目的	対象（誰を・何を）										
	市が管理する道路の占用物件										
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）										
	適正かつ効率的な管理を行う。										
<p>①法令に基づき申請された道路占用及び道路改築（法定外道路を含む）の内容を審査し、許可を行う。また占用、改築工事等完了後の検査を行う。          一般申請件数 平成21年度（平成22年3月31日現在 2370件/年） 平成22年度（平成23年3月31日現在 2497件/年） 平成23年度（平成24年3月31日現在 2727件/年） 平成24年度（平成25年3月31日現在 2554件/年） 平成25年度（平成26年3月31日現在 2661件/年）</p> <p>②道路占用料の徴収事務 平成21年度（531件 342,311千円） 平成22年度（490件 345,446千円） 平成23年度（581件 347,083千円） 平成24年度（556件 351,153千円） 平成25年度（576件 354,741千円）</p>											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	476	41,272	41,748	0	0	351,153	-309,405				
25当初予算	1,082	51,814	52,896	0	0	350,000	-297,104	正規	4.43	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
25決算	676	51,814	52,490	0	0	354,741	-302,251	再任用	1.00	その他	0.00
26当初予算	941	49,346	50,287	0	0	354,000	-303,713	任期付	3.70	合計	9.13

  

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費	7		656	旅費	近接地旅費
需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費		需用費	消耗品費、印刷製本費、食糧費		500	
役務費	放置自転車リサイクル料及び処分料	0	役務費	放置自転車リサイクル料及び処分料		200	
委託料	放置車両撤去及び処分料	7	委託料	放置車両撤去及び処分料		210	
使用料及び賃借料	占用会議会場使用料	6	使用料及び賃借料	占用会議会場使用料		21	
合計			676	合計			941

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155002000-003	事務事業名	道路占用事務事業
------	----------------	-------	----------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	許可件数	道路占用申請書の件数	件	2,554	2,661	2,600
	占用料徴収額	占用面積・占用距離に、各占用物件の単価を乗じて計算	千円	351,153	354,741	354,000
	<b>指標で表せない成果</b>					
占用申請時に市と協議することにより、道路の安全性及び快適性の確保とライフラインの確保が図れる。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
道路法に基づき、適正に事務処理をしていく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	道路管理(一般)事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155002000 - 004				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	土木費							
	<b>項</b>	道路橋りょう費	<b>事業所管課</b>	土木交通部道路管理課					
	<b>目</b>	道路橋りょう総務費	<b>連絡先</b>	(078)918-5033					
	<b>事業</b>	道路管理事務事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市事務分掌規則第12条					
	5-2 交通体系の構築								
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
				委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>	道路利用者
	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>	道路管理上の啓発事業を行い、安全意識、マナー等の向上を図る。
	<b>事業内容</b>	道路を守る全国的な啓発活動の一環として、道路利用者の安全意識及びマナー向上等を図るための活動を行うもの。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	549	11,508	12,057	0	0	0	12,057				
25当初予算	626	12,311	12,937	0	0	0	12,937	正規	1.17	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	396	12,311	12,707	0	0	0	12,707	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	1,299	11,154	12,453	0	0	0	12,453	任期付	0.60	合計	1.77

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費、修繕料、光熱水費	80		200		
役務費	手数料	1	10				
委託料	土木部資材倉庫及び書庫警備業務委託	315	389				
			700				
<b>合計</b>			396	<b>合計</b>			1,299

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155002000-004	事務事業名	道路管理(一般)事務事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
道路利用者への啓発事業であり、指標として成果は示せない。より多くの道路利用者に、道路の適切な利用を周知する。 平成25年度については、広報あかしに道路危険箇所の通報呼びかけを行った。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点 (満たしていない観点に「×」)</b>					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
より効果的な啓発の推進を図る。併せて、適正な資材倉庫の管理を行う。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	道路維持補修事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155002000 - 005				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計							
	<b>款</b>	土木費							
	<b>項</b>	道路橋りょう費							
	<b>目</b>	道路維持費							
	<b>事業</b>	道路維持補修事業							
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	5-2 交通体系の構築		<b>事業所管課</b>	土木交通部道路管理課					
<b>個別計画</b>			<b>連絡先</b>	(078)918-5033					
			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
			<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法第42条、45条、道路の維持修繕管理要領について(昭和37年8月28日道発368号道路局長通達ほか)					
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
				委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>	市道及び法定外道路の道路構造物及び付属施設
	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>	道路環境を良好に保ち、かつ安全に通行できるよう適切に維持管理を図る。

<b>事業内容</b>	請負業者による単価契約工事で、道路構造物及び付属施設の維持補修工事(舗装補修、安全防護柵新設補修、道路反射鏡新設補修、道路標識新設補修、区画線等道路標示新設補修)と、委託による除草作業、駅自由通路及び関連施設に関する清掃業務を行っている。
-------------	---

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	510,665	89,272	599,937	19,018	39,800	0	541,119	正規	9.57	パート	0.00
25当初予算	456,459	84,995	541,454	2,500	5,000	0	533,954	再任用	2.30	その他	0.00
25決算	513,219	84,995	598,214	28,467	17,500	0	552,247	任期付	0.84	合計	12.71
26当初予算	478,788	88,478	567,266	15,700	10,800	0	540,766				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地内旅費	66		80		
需用費	消耗品費、印刷製本費、修繕料、食糧費、光熱水費	14,176	18,130				
役務費	都市情報提供システムほか通信料	225	404				
委託料	道路関連施設維持管理業務ほか	106,285	89,132				
工事請負費	道路舗装補修工事ほか	392,365	370,907				
その他		102	135				
<b>合計</b>			513,219	<b>合計</b>			478,788

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155002000-005	事務事業名	道路維持補修事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	市民等からの通報及びパトロール異常箇所発見数	道路モニターや市民等からの通報件数及び職員パトロールによる異常箇所発見数	件	1,300	1,300	1,300
	道路維持補修工事箇所件数	道路構造物の老朽化や損傷箇所の機能回復、道路の機能改善を目的とした道路維持補修工事箇所数。	件	1,100	1,100	1,100
<b>指標で表せない成果</b>						
道路の陥没や自然災害による道路の冠水等に対して、緊急工事や補修工事を行なった。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
維持管理の対象物は年々増加しており、また、昨今多発しているゲリラ豪雨等の自然災害による被害を未然に防ぐために、一層の整備、補修工事の充実、更なる効率化を図る必要がある。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		街路樹維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155002000 - 006		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	土木交通部道路管理課				
	項	道路橋りょう費		連絡先	(078)918-5033				
	目	道路維持費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 12 年度		
	事業	街路樹維持管理事業		根拠法令 ・要綱等	道路法第42条、道路の維持修繕管理要領について (昭和37年8月28日道発368号道路局長通達ほか)				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他
		5-2 交通体系の構築			委託	○	指定管理		
個別計画									
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	市道及び法定外道路の街路樹								
意図（どういう状態にしたいのか）									
適切に維持管理し、道路環境を整備すると共に市民の安全を確保する。									
事業 内容	①委託業者に街路樹の剪定、植樹・伐採等、工事に伴う移植等を委託								
	② " 明石駅前広場ほか植栽内自動散水管理業務等を委託 上記委託業者への指示、報告及び突発的な苦情対応を行っている。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	55,961	5,852	61,813	0	0	0	61,813	正規	0.24	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	59,062	5,828	64,890	0	0	0	64,890	再任用	0.70	その他	0.00
25決算	56,057	5,828	61,885	0	0	0	61,885	任期付	0.56	合計	1.50
26当初予算	59,432	5,804	65,236	0	0	0	65,236				

  

25年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地内旅費	5		5	旅費	近接地内旅費
需用費	街路樹維持管理に係る消耗品費、光熱水費	1,618	1,618	需用費	街路維持管理にかかる消耗品費、光熱水費等	2,088	
委託料	街路樹の剪定や自動散水等の維持管理に要する費用	54,434	54,434	委託料	街路樹の剪定や自動散水等の維持管理に要する費用	57,334	
負担金補助及び交付金	研修会参加負担金	0	0				
	合計		56,057		合計		59,432

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155002000-006	事務事業名	街路樹維持管理事業
------	----------------	-------	-----------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	街路樹維持管理に関する苦情、要望件数	市民等より街路樹の植樹や剪定等の苦情、要望を受け付けた件数。	件	450	450	450
	<b>指標で表せない成果</b>					
街路樹の剪定、伐採等を定期的に行い、道路環境を安全、快適に保持するよう努めた。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
引き続き、現在の街路樹委託事業を継続する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	用地対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155003000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	土木費	<b>事業所管課</b>	土木交通部用地課				
	<b>項</b>	土木管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5032				
	<b>目</b>	土木総務費	<b>自治/法定</b>	自治+法定	<b>開始年度</b>	不明		
	<b>事業</b>	用地対策事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市事務分掌規則、国土利用計画法、公有地の拡大の推進に関する法律				
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	5-2 交通体系の構築		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
<b>個別計画</b>								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	公共事業用地
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	事業課の依頼に基づき事業用地を取得し、公共事業の促進を図る。

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			24年度	25年度	26年度
	事務管理業務	課の庶務に関する事務			
	国土法、公拓法受付事務	国土利用計画法、公有地の拡大の推進に関する法律に基づく申請受付事務	国土法38件 公拓法19件	国土法39件 公拓法13件	国土法32件 公拓法17件
	公共用地の取得及び補償業務	事業課の依頼に基づき、公共事業に必要な事業用地を取得する。	契約数48件	契約数27件	契約数32件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,074	47,920	48,994	7,541	0	0	41,453				
25当初予算	3,080	36,600	39,680	12,063	0	0	27,617	正規	1.60	パート	0.00
25決算	708	36,600	37,308	0	0	0	37,308	再任用	0.40	その他	0.20
26当初予算	3,117	15,020	18,137	10,729	0	100	7,308	任期付	0.00	合計	2.20

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	用地交渉旅費等	190		旅費	用地交渉旅費等	500
需用費	消耗品費等(事務用品)	211	需用費	消耗品費、印刷製本費等	400		
役務費	不動産鑑定手数料	5	役務費	不動産鑑定料	1,200		
委託料	ソフトウェアメンテナンス業務委託	151	委託料	用地買収管理システム保守等	636		
使用料及び賃借料	コピー使用料	5	使用料及び賃借料	コピー使用料	81		
負担金補助及び交付金	用地事務交渉研修負担金	146	負担金補助及び交付金	研修出席負担金等	300		
	<b>合計</b>	<b>708</b>		<b>合計</b>	<b>3,117</b>		

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155003000-001	事務事業名	用地対策事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	契約件数	契約を締結した件数	件	48	27	32
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>公共事業を推進していく上で用地買収は、事業の基礎となるものであり、必要最低限の経費で事業を行っている。</p> <p>また、公共事業等により、用地買収を必要とする事業が増加すると必然的に事業規模は拡大する。</p> <p>住民の権利意識の高まりや、相続発生による土地の権利者の複雑化に伴い、用地の管理や職員の資質の維持向上に常に注意を払っていく必要があり、事業の推進を遂行するため現状を維持する。</p>					

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名 旧土地開発公社保有土地管理事業		新規/継続	H26新規	整理番号	0155003000 - 002		
		分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容				
	款	土木費	事業所管課	土木交通部用地課			
	項	土木管理費	連絡先	(078)918-5032			
	目	土木総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 26 年度	
	事業	用地対策事業	根拠法令 ・要綱等	明石市財産条例 明石市公有財産規則			
施策分野		6 行政経営分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
		6-5 健全財政の推進		委託		指定管理	
個別計画							

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	明石市土地開発公社より移譲された土地	
	意図（どういう状態にしたいのか）	明石市土地開発公社から移譲された土地の管理を行う。 また、土地の利活用、売却を進める。	
事業 内容	○移譲を受けた土地の利活用、売却をする。		
	平成26年度（見込み）	18,892千円	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	1.60	アハハ	0.00
25当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.40	その他	0.20
25決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	2.20
26当初予算	18,892	15,020	33,912	0	0	0	33,912				

  

25 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
					需用費	消耗品費、光熱水費	682
					役務費	不動産鑑定料、月極駐車料金振替手数料等	1,210
					委託料	用地測量委託費、用地管理委託料	13,000
					工事請負費	フェンス等撤去及び新設費	4,000
	合計		0		合計		18,892

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155003000-002	事務事業名	旧土地開発公社保有土地管理事業
------	----------------	-------	-----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	土地売却					2件
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>土木交通部所管地及び土地開発公社から引き継いだ土地については、これまでも売却等の処分を進めてきたが、土地によっては様々な課題を抱えており、すぐには売却は困難である。そこでこれらの土地に付随する課題を解消していき、利活用の有無・売却を進めていくためにも今年度より事業を行っていく必要がある。</p>					

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>		国道2号改良事業用地先行取得事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155003000 - 003			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	公共用地取得事業		事業の分割/統合の内容						
	款	公共用地取得費				事業所管課	土木交通部用地課			
	項	行政財産取得費		連絡先	(078)918-5032					
	目	公共用地先行取得費		自治/法定	法定受託事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	国道2号改良事業用地先行取得事業		根拠法令・要綱等		地方財政法				
施策分野		5 都市基盤整備分野				実施方法		直営	○	補助・助成
個別計画		5-2 交通体系の構築		委託	○			指定管理		
		対象（誰を・何を）								
一般国道2号明石駅前交差点										
意図（どういう状態にしたいのか）										
<p>当該交差点は西側4車線、東側2車線の変則的な交差点となっており、慢性的な交通渋滞が発生するとともに、交通事故が多数発生している。変形交差点を解消するために、東側車線を4車線に拡幅するための事業用地を取得する。</p> <p>なお、本事業は、国の直轄事業であり、国との契約に基づき、市が事業用地の先行取得及び物件移転補償を行い、後年度、国が取得費用に利息・事務費等を付して買戻しを行うものである。</p>										
○事業用地の先行取得及び物件移転補償を行う。										
<p>平成25年度                    750,899千円</p> <p>平成26年度(見込み)       351,345千円</p>										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	181,759	20,200	201,959	0	180,600	0	21,359				
25当初予算	466,729	10,040	476,769	0	465,200	0	11,569	正規	1.60	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
25決算	312,616	10,040	322,656	2,561	312,073	290	7,732	再任用	0.40	その他	0.20
26当初予算	351,345	15,020	366,365	0	349,900	0	16,465	任期付	0.00	合計	2.20

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	用地交渉旅費等			190	旅費	用地交渉旅費等
役務費	不動産鑑定手数料		42	需用費	消耗品費、印刷製本費		315
公有財産購入費	用地購入費		192,109	役務費	不動産鑑定手数料		400
補償補填及び賠償金	物件移転補償費		120,000	公有財産購入費	用地費		160,770
その他	その他		275	補償補填及び賠償金	物件移転補償費		189,200
				その他	その他		260
合計			312,616	合計			351,345

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155003000-003	事務事業名	国道2号改良事業用地先行取得事業
------	----------------	-------	------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	契約件数	契約を締結した件数	件	19	13	12
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	<p>当該交差点は、変則的な交差点で慢性的な交通渋滞が発生するとともに交通事故が多数発生しており、変則的な交差点を解消するために拡幅が必要であり、整備することで交通事故の減少につながる。</p> <p>また、国の直轄事業であり、国との契約に基づいて地域性の高い市が事業用地の先行取得及び物件移転補償を行い、早期に事業を推進する。</p> <p>住民の権利意識の高まりや相続発生により土地の地権者の複雑化に伴い、用地の管理や職員の資質の維持向上に常に注意を払っていく必要がある。事業の進捗により事業規模は異なるが現状を維持する。</p>					

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		国道2号線改廃事業用地先行取得事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0155003000 - 004			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	公共用地取得事業	事業の分割/統合の内容						
	款	公債費	事業所管課	土木交通部用地課					
	項	公債費	連絡先	(078)918-5032					
	目	元金	自治/法定	法定受託事務	開始年度	平成 25 年度			
	事業	長期債元金償還金	根拠法令・要綱等	地方自治法・地方財政法					
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
		5-2 交通体系の構築		委託		指定管理			
個別計画									

事業の目的	対象（誰を・何を） 一般国道2号明石駅前交差点改廃事業にかかる公共用地先行取得債											
	意図（どういう状態にしたいのか） 先行取得債(元金)を償還すること。											
	事業内容 平成25年度 ○償還金 元金       122,247千円  ○償還金 利子         192千円  平成26年度 ○償還金 元金(見込み)   252,000千円  ○償還金 利子(見込み)   13,600千円											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	1.60	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
25当初予算	120,000	6,640	126,640	120,000	0	0	6,640	再任用	0.40	その他	0.20
25決算	122,247	6,640	128,887	122,247	0	0	6,640	任期付	0.00	合計	2.20
26当初予算	252,000	15,020	267,020	252,000	0	0	15,020				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		償還金利子及び割引料	償還金		122,247		償還金利子及び割引料
	合計		122,247		合計		252,000

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155003000-004	事務事業名	国道2号線改良事業用地先行取得事業
------	----------------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
	償還額	償還金額元金	千円	-	122,247	252,000	
	指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
国から委託を受け、市が先行取得した土地等に要した費用に利息・事務費を付して買戻しを行う。 事業の進捗状況により、事業規模は異なるが、実情に応じ事業を推進していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	国道2号改良事業用地先行取得事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155003000 - 005		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	公共用地取得事業					
	<b>款</b>	公債費					
	<b>項</b>	公債費					
	<b>目</b>	利子					
	<b>事業</b>	長期債利子					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	5-2 交通体系の構築		<b>事業所管課</b>	土木交通部用地課			
<b>個別計画</b>			<b>連絡先</b>	(078)918-5032			
			<b>自治/法定</b>	法定受託事務	<b>開始年度</b>	平成 25 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法・地方財政法			
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	一般国道2号明石駅前交差点改良事業にかかる公共用地先行取得債
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	先行取得債（利息）を償還すること。
	<b>事業内容</b>	<p>平成25年度</p> <p>○償還金 元金       122,247千円</p> <p>○償還金 利子        192千円</p> <p>平成26年度</p> <p>○償還金 元金（見込み）   252,000千円</p> <p>○償還金 利子（見込み）   13,600千円</p>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
24決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
25当初予算	5,108	6,640	11,748	5,000	0	0	6,748	正規	1.60	ｱｲﾊﾞｲ	0.00	再任用	0.40	その他	0.20
25決算	192	6,640	6,832	192	0	0	6,640	任期付	0.00	合計	2.20				
26当初予算	13,600	15,020	28,620	13,600	0	0	15,020								

  

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		償還金利子及び割引料	償還金利子		192		償還金利子及び割引料
	<b>合計</b>		192		<b>合計</b>		13,600

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155003000-005	事務事業名	国道2号改良事業用地先行取得事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	償還額	償還金利息	千円	-	192	13,600
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
国から委託を受け、市が先行取得した土地等に要した費用に利息・事務費を付して買戻しを行う。 事業の進捗状況により、事業規模は異なるが、実情に応じ事業を推進していく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155003000-006	事務事業名	土地開発公社償還事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	償還額	償還金額合計	千円	83,958	473,541	/
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成25年度限りで休廃止						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		海岸管理一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155004000 - 001		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	土木交通部海岸課				
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5042				
	目	海岸海域整備事業対策費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	海岸管理一般事務事業		根拠法令 ・要綱等	明石市事務分掌規則				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-3 海辺の利活用の推進			委託		指定管理		
個別計画									
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 海岸管理にかかる一般事務								
	意図（どういう状態にしたいのか） 海岸整備事業の推進と完成施設の管理の円滑な執行のため、一般事務に要する経費を計上している。								
事業 内容	1 海岸管理にかかる一般事務経費 2 各協会総会等への出席 加盟する各協会の総会等へ出席 全国の海岸行政の動向の情報収集								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	915	3,300	4,215	0	0	0	4,215	正規	0.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	1,710	3,480	5,190	0	0	0	5,190	再任用	0.05	その他	0.00
25決算	783	3,480	4,263	0	0	0	4,263	任期付	0.25	合計	0.60
26当初予算	796	3,280	4,076	0	0	0	4,076				

  

25 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
	旅費	各加盟協会総会、理事会等旅費	221		221	旅費	各加盟協会総会、理事会等旅費
需用費	事務用品	359	359	需用費	事務用品	360	
使用料及び賃借料	コピー使用料	61	61	使用料及び賃借料	コピー使用料	81	
負担金補助及び交付金	各加盟総会等参加負担金、年会費	142	142	負担金補助及び交付金	各加盟総会等参加負担金、年会費	175	
合計			783	合計			796

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-001	事務事業名	海岸管理一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸関係各事業へもたらした効果</li> <li>・各協会への加盟、総会等出席による効果的な情報収集</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>これまでも様々な効率化の取り組みを行ってきており、今後も有効かつ効率的な事業を継続していく。</p>						

# 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		海岸施設維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155004000 - 002			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	土木交通部海岸課					
	項	土木管理費		連絡先	(078)918-5042					
	目	海岸海域整備事業対策費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	海岸施設維持管理事業		根拠法令・要綱等	明石市事務分掌規則、明石市都市公園条例、明石市海浜の利用並びに海浜利便施設の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則					
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	○
		5-3 海辺の利活用の推進			委託	○	指定管理	○		
個別計画										

事業の目的	対象（誰を・何を）	海浜利便施設、大蔵海岸（公園、海浜等、駐車場、多目的広場）								
	意図（どういう状態にしたいのか）	利用者が快適に利用できるよう維持管理を行うとともに、安全の確保を図る。								

事業内容	1 海岸施設等管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸施設維持管理業務委託</li> <li>各施設等清掃業務委託</li> <li>各海岸、海浜利便施設を快適に利用いただけるよう、海岸、海岸休憩施設の清掃について業務委託している。</li> <li>駐車場集金・管理業務委託</li> <li>各海岸休憩施設駐車場について、集金及び管理を業務委託している。</li> <li>・大蔵海岸施設指定管理業務（大蔵海岸多目的広場を含む）及び大蔵海岸海水浴場開設・運営業務委託</li> <li>大蔵海岸公園全体の管理運営について、指定管理者制度を導入し、大蔵海岸施設として一体管理を行う。また、平成26年9月にオープンを予定している大蔵海岸多目的広場についても、指定管理者制度により管理運営を行う。</li> <li>指定管理業務とは別に、大蔵海岸海水浴場開設・運営業務についても、指定管理者に業務委託する。</li> </ul>								
	2 施設改修工事等	各施設及び海水浴場を安全かつ快適に利用していただけるよう、安全対策工事や利用活性化工事等を行っている。								
	3 海浜利便施設修繕業務、看板設置等	海浜利便施設の設備の破損等があれば、迅速に補修・修繕を行っている。								
	4 海岸利用活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大蔵海岸多目的広場の整備工事を実施し、大蔵海岸の利用の活性化を図る。</li> <li>・海水浴場開設補助金交付 海水浴場開設に係る支援を実施する。</li> <li>（林崎・松江海水浴客数）</li> <li>平成22年度 約100,000人 平成23年度 約88,000人 平成24年度 約67,000人 平成25年度 約55,000人</li> <li>（大蔵海岸海水浴場）</li> <li>平成22年度 約158,000人 平成23年度 約180,000人 平成24年度 約191,000人 平成25年度 約195,000人</li> </ul>								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	182,711	15,270	197,981	1,856	6,800	38,346	150,979	正規	1.60	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	312,094	18,480	330,574	1,380	132,500	37,115	159,579	再任用	0.20	その他	0.00
25決算	293,593	18,480	312,073	20,222	66,100	58,939	166,812	任期付	0.20	合計	2.00
26当初予算	289,897	14,320	304,217	1,380	88,200	49,281	165,356				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	西部海岸安全対策資材、修繕料、光熱水費等	5,426		需用費	西部海岸安全対策資材、修繕料、光熱水費等	6,709
委託料	指定管理料、施設清掃業務等	174,495	委託料	指定管理料、施設清掃業務等	188,819		
工事請負費	大蔵海岸多目的広場整備工事等	107,922	工事請負費	大蔵海岸多目的広場整備工事等	87,800		
原材料費	大蔵海岸白砂原材料費	3,969	原材料費	大蔵海岸白砂原材料費	4,000		
負担金補助及び交付金	林崎海岸広場トイレ改修に伴う水道分担金、海水浴場開設事業補助金	1,749	負担金補助及び交付金	大蔵海岸多目的広場整備水道分担金、海水浴場開設事業補助	2,199		
その他	動産総合保険、会議室使用料等	32	その他	動産総合保険、指定管理者選定委員会報償費、会議室使用料等	370		
合計			293,593	合計			289,897

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-002	事務事業名	海岸施設維持管理事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	海岸施設維持補修工事件数	パトロール等で発見した補修必要箇所の対応件数	件	15	22	25
	<b>指標で表せない成果</b>					
海浜利便施設を安全に安心して、快適に利用できるよう、維持管理を実施している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>				
	・海浜利便施設等の維持管理において中心となる事業であり、利用者の安全確保、利便性の向上を図るため、これまでどおり事業を継続していく。 ・各海岸の利用促進を図るため、関係機関と協議しながら利便施設等の改修、拡充を実施していく。				

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	展望広場維持管理事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155004000 - 003				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	土木費	<b>事業所管課</b>	土木交通部海岸課					
	<b>項</b>	土木管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5042					
	<b>目</b>	海岸海域整備事業対策費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
	<b>事業</b>	海岸施設維持管理事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	地方自治法、明石市海浜の利用並びに海浜利便施設の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	5-3 海辺の利活用の推進			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
<b>個別計画</b>									

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	中崎展望広場
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	中崎展望広場の秩序ある適正な利用を図るため、緑地の清掃等の管理を行う。 中崎展望広場駐車場の適正な運営管理を行う。

<b>事業内容</b>	1 展望広場駐車場の維持管理 兵庫県から駐車場部分の使用許可を受け、適正な駐車場の管理運営を実施する。	
	2 展望広場清掃業務 展望広場の日常清掃業務を委託	
	3 樹木等維持管理業務 展望広場の樹木剪定等の業務を委託	
	4 駐車場設備保守業務 展望広場駐車場の適正な運営・管理のため、駐車場機器の定期点検、故障修理、障害対応の業務を委託	
	5 駐車場機器更新 設置から15年以上が過ぎ、経年劣化による不具合が発生している駐車場機器の更新を実施する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	3,762	5,270	9,032	1,204	0	15,688	-7,860				
25当初予算	11,717	4,675	16,392	1,680	0	15,000	-288	正規	0.55	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	7,657	4,675	12,332	1,249	0	18,023	-6,940	再任用	0.05	その他	0.00
26当初予算	19,672	4,940	24,612	1,680	0	15,000	7,932	任期付	0.10	合計	0.70

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	294	駐車券、修繕料、光熱水費等		294	需用費	1,080
役務費	10	動産総合保険	10	役務費	10	動産総合保険	10
委託料	3,147	施設維持管理業務等	3,147	委託料	3,700	施設維持管理業務等	3,700
使用料及び賃借料	4,206	中崎展望広場駐車場占用料	4,206	使用料及び賃借料	6,382	中崎展望広場駐車場占用料	6,382
				工事請負費	500	施設補修	500
				備品購入費	8,000	中崎展望広場駐車場機器更新費	8,000
	<b>合計</b>		<b>7,657</b>		<b>合計</b>		<b>19,672</b>

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-003	事務事業名	展望広場維持管理事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
中崎展望広場を快適に利用できるよう維持管理を実施している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
今後も快適に利用いただけるように事業を継続していく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-004	事務事業名	明石港再整備事業
------	----------------	-------	----------

事業の 成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
指標で表せない成果						

事業の 評価・ 今後の 方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
明石港を中心市街地活性化の核のひとつとなる場所として、フェリー乗り場跡地開発者をはじめ関係機関と協議しながら整備構想を検討していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	海岸モニター事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155004000 - 005		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	土木管理費	<b>事業所管課</b>	土木交通部海岸課			
	<b>目</b>	海岸海域整備事業対策費	<b>連絡先</b>	(078)918-5042			
	<b>事業</b>	海岸モニター事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 15 年度	
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市海岸モニター制度実施要綱				
	5-3 海辺の利活用の推進						
<b>個別計画</b>		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他
			委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	明石市内各海岸
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市内の海岸の管理について、市民・行政が共に活動することにより海岸管理体制の充実及び強化を図り、同時に安全・安心のまちづくりに向けて一層の取り組みを行う。海岸の安全対策に、日々海岸を利用する市民の目を積極的に取り入れ、迅速に対応することを目的とする。
<b>事業内容</b>	<p>1 海岸モニター募集(平成26年2月中旬～3月初旬)。          応募資格:①市内居住の20歳以上の者                    ②散策等により日常的に海浜を利用している者          募集方法:広報あかし、明石市ホームページ、ポスター配布(行政情報センター、各市民センター・サービスコーナー、各コミセン)          人数:100名          任期:委嘱の日から年度末まで          活動内容:①海岸において危険箇所その他の変状を発見したときは、土木交通部海岸課に通報すること。                    ②海岸でウミガメやウミガメの足跡などを発見したときは、土木交通部海岸課に通報すること。                    ③市が主催する説明会、報告会に参加すること。</p> <p>2 説明会(4月下旬)          委嘱状交付(平成21年度 48名、平成22年度 38名、平成23年度 40名、平成24年度 40名、平成25年度 40名)。          海岸モニターの活動や安全・安心の海岸づくりについて説明するほか、国土交通省の職員に参加いただき、国の安全対策について説明してもらう。</p> <p>3 報告会(3月中旬)          年度中に寄せられた海岸モニターからの報告を基に集計表を作成し、配付。          (報告件数:平成21年度101件、平成22年度37件、平成23年度65件、平成24年度69件、平成25年度66件)          また、海岸モニターとして1年間の活動をもとに意見交換を行う。</p>	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	141	6,940	7,081	0	0	0	7,081	正規	0.50	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	375	7,960	8,335	0	0	0	8,335	再任用	0.20	その他	0.00
25決算	141	7,960	8,101	0	0	0	8,101	任期付	0.05	合計	0.75
26当初予算	155	4,910	5,065	0	0	0	5,065				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
	需用費	図書カード(活動に係る通信費弁償分)、説明会資料等作成費	127		127	需用費	図書カード(活動に係る通信費弁償分)、説明会資料等作成費	140
使用料及び賃借料	説明会会議室使用料	14	14	使用料及び賃借料	説明会会議室使用料	15		
<b>合計</b>					<b>合計</b>			
141					155			

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-005	事務事業名	海岸モニター事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	海岸モニターからの通報件数	国、県、市の各管理施設に関する情報の件数	件	69	66	60
	<b>指標で表せない成果</b>					
海岸利用者等から寄せられたきめ細やかな情報により、事故等を未然に防ごうとするものであり、寄せられた情報を基に適正な施設の維持管理に努めている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>これまで海岸施設等の利用者の安全・安心を主観に事業を実施してきたが、本年度より各モニターに海岸の利用状況についても報告を求めている。施設の維持管理だけでなく、子ども達だけの遊泳や危険箇所への立ち入りなどの利用状況の情報を収集することで、従来よりも広い視野で海岸の安全・安心を充実できるように取り組んでいく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	海岸施設等安全対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155004000 - 006		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計					
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	土木管理費					
	<b>目</b>	海岸海域整備事業対策費					
	<b>事業</b>	海岸施設等安全対策事業					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業所管課</b>	土木交通部海岸課			
	5-3 海辺の利活用の推進		<b>連絡先</b>	(078)918-5042			
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 15 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市事務分掌規則			
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	海浜利便施設等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	海浜利便施設等の安全点検結果に基づき、補修や対策が必要と判断された箇所の安全対策を実施する。
<b>事業内容</b>	<p>1 海浜利便施設等修繕 前年度及び当該年度実施の安全点検に基づく補修必要箇所の修繕</p> <p>2 夏期海岸利用安全対策 遊泳者と水上バイクの混在による事故を防止するため、遊泳者・水上バイク利用者への啓発看板を設置する。</p> <p>(参考:平成25年度までの事業) 江井島海岸斜面地安全対策 (平成20年度) 詳細設計業務委託 (平成21年度) 安全対策工事 (平成22年度) 安全対策工事 (平成23年度) 安全対策工事 終了</p> <p>海岸利便施設空洞調査 (平成24年度) 藤江から江井島間の休憩施設等の地中レーダー探査を実施 対策が必要な空洞は発見されなかった。</p> <p>八木平磯ほか斜面地 (平成25年度) 土地開発公社からの用地買戻し終了(17筆)</p>	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	2,048	7,140	9,188	0	0	0	9,188				
25当初予算	357,000	6,695	363,695	0	355,000	0	8,695	正規	0.50	パート	0.00
25決算	348,814	6,695	355,509	0	347,300	0	8,209	再任用	0.10	その他	0.00
26当初予算	2,000	4,570	6,570	0	0	0	6,570	任期付	0.05	合計	0.65

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	修繕料	1,469		1,469	需用費	修繕料
公有財産購入費	斜面地の買戻し	347,345	347,345	工事請負費	夏期海岸利用安全対策工事	500	
<b>合計</b>			348,814	<b>合計</b>			2,000

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-006	事務事業名	海岸施設等安全対策事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
施設を安全に安心して利用できるよう、対策に努めている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
施設利用者の安全・安心を確保するため、これまでどおり事業を継続していく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-007	事務事業名	海岸利用マナーアップ推進事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	海岸利用啓発業務(昼間)における啓発件数	林崎海岸、松江海岸におけるバーベキュー等利用者の件数	件	1,017	625	600
	海岸利用啓発業務(夜間)における啓発件数	夜間花火を禁止している時間帯における花火件数	件	250	177	100
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
海岸でのバーベキューや夜間花火など、近隣住民の生活環境に影響を及ぼす利用について、現地に啓発員を配置し、利用マナー及び環境美化に関して向上できるよう啓発を実施している。今後は、平成26年4月に改正した海浜利用条例を啓発、周知するとともに、次年度以降の現地啓発員の配置期間、人員等を検討していく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-008	事務事業名	アカウミガメ保護関連事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	出前講座開催数	出前講座の開催数により、アカウミガメをはじめ海岸環境への興味、意識の高さを図ることができる。	件	1	2	4
	<b>指標で表せない成果</b>					
ウミガメの保護を通じて、自然や命の大切さを広く啓発するとともに、出前講座ではアカウミガメが産卵に訪れる海岸環境の保全、改善に向け、環境及び美化に関する意識の啓発も実施している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
アカウミガメの産卵が増加するように海岸環境の保全、改善及び美化活動を実施するとともに、出前講座のPR、インターネット及びポスターの活用などを検討し、広く明石海岸を発信できるように事業を継続していく。また、ウミガメが上陸、産卵した際には、関係機関と連携し、自然や命の大切さを広く啓発するための取り組みを実施していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	港湾管理一般事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155004000 - 009				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計							
	<b>款</b>	土木費							
	<b>項</b>	港湾費							
	<b>目</b>	港湾管理費							
	<b>事業</b>	港湾管理一般事務事業							
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業所管課</b>	土木交通部海岸課					
	5-3 海辺の利活用の推進		<b>連絡先</b>	(078)918-5042					
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市事務分掌規則					
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
				委託		指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	港湾所在地自治体としての一般事務や受託事務
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	一般事務や受託事務を円滑に遂行するための経費を計上している。

<b>事業内容</b>	1	各協会総会等への出席 加盟する各協会の総会等に出席 全国の港湾行政の動向の情報収集
	2	港湾防潮ゲート 出水期前に防潮ゲートの点検、簡易補修を実施
	3	運営補助 みなと記念ホール運営補助金交付

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,911	3,300	5,211	0	0	0	5,211	正規	0.40	パート	0.00
25当初予算	2,423	3,520	5,943	180	0	0	5,763	再任用	0.10	その他	0.00
25決算	1,922	3,520	5,442	180	0	0	5,262	任期付	0.20	合計	0.70
26当初予算	2,368	4,140	6,508	180	0	0	6,328				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	各加盟協会総会等旅費	98		26	旅費	各加盟協会総会等旅費
需用費	事務用品	35	26	需用費	事務用品、防潮ゲート点検修繕料等	429	
負担金補助及び交付金	各加盟協会総会等参加負担金、年会費、みなと記念ホール運営補助	1,789	26	負担金補助及び交付金	各加盟協会総会等参加負担金、年会費、みなと記念ホール運営補助金	1,829	
	<b>合計</b>		1,922		<b>合計</b>		2,368

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-009	事務事業名	港湾管理一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み

**指標で表せない成果**

- ・港湾関連業務にもたらした効果
- ・各協会への加盟、総会等出席による、効果的な情報収集

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×		

**現状の課題・今後の事業展開方針等**

事業全体について、これまでも様々な効率化の取り組みを行ってきた。今後は、みなと記念ホール運営費補助金の金額の削減に向け、関係者と協議を継続していく。

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	港湾環境美化事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155004000 - 010		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計					
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	港湾費					
	<b>目</b>	港湾管理費					
	<b>事業</b>	港湾環境美化事業					
<b>事業所管課</b>		土木交通部海岸課					
<b>連絡先</b>		(078)918-5042					
<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	不明			
<b>根拠法令・要綱等</b>		地方自治法					
<b>実施方法</b>		直営	○	補助・助成		その他	
		委託	○	指定管理			
<b>施策分野</b>		5 都市基盤整備分野					
		5-3 海辺の利活用の推進					
<b>個別計画</b>							

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	東播磨港港湾区域
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	東播磨港港湾区域内の清掃、樹木等の維持管理をすることにより、海岸環境を美化し、周辺地域の生活環境の保全を図る。

<b>事業内容</b>	1 東播磨港海岸清掃業務 東播磨港海岸に漂着した海草や、ごみ等の収集運搬業務を委託
	2 南二見防潮堤等集積ごみ収集運搬業務 南二見防潮堤管理用通路に設置されたごみカゴに集積されたごみの収集運搬業務を委託
	3 海岸施設樹木等維持管理業務 東播磨港海岸施設の樹木剪定等の業務を委託
	4 東播磨港港湾区域内緑地等清掃業務 東播磨港港湾区域内の緑地等の清掃業務を委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	10,335	4,500	14,835	5,168	0	0	9,667	正規	0.45	パート	0.00
25当初予算	10,336	4,205	14,541	5,168	0	0	9,373	再任用	0.05	その他	0.00
25決算	8,042	4,205	12,247	4,027	0	0	8,220	任期付	0.05	合計	0.55
26当初予算	10,336	3,990	14,326	5,168	0	0	9,158				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	港湾環境美化事業(清掃業務、樹木等維持管理業務)	8,042		委託料	港湾環境美化事業(清掃業務、樹木等維持管理業務)	10,336
	<b>合計</b>		8,042		<b>合計</b>		10,336

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-010	事務事業名	港湾環境美化事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
東播磨港湾区域内地の清掃及び樹木剪定を定期的に行い、港湾環境の美化に努めている。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
今後も快適に利用いただけるように事業を継続していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		県施行港湾改良等事業負担金		新規/継続	継続事業	整理番号	0155004000 - 011			
				分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容						
	款	土木費		事業所管課	土木交通部海岸課					
	項	港湾費		連絡先	(078)918-5042					
	目	港湾建設費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	県施行港湾改良等事業負担金		根拠法令 ・要綱等	地方財政法					
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他		
		5-3 海辺の利活用の推進			委託		指定管理			
個別計画										
事業 の 目的	対象（誰を・何を）									
	県施行の港湾関係建設事業にかかる経費									
事業 内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	経費の一部を負担する。									
		県施行港湾改良等事業負担金 ・明石港								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	77	2,100	2,177	0	0	0	2,177	正規	0.25	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
25当初予算	2,835	1,660	4,495	0	2,800	0	1,695	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	1,348	1,660	3,008	1,348	0	0	1,660	任期付	0.00	合計	0.25
26当初予算	1,890	2,050	3,940	0	0	0	3,940				

  

25 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	県施行港湾改良等事業地元負担金		1,348		負担金補助及び交付金
	合計		1,348		合計		1,890

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-011	事務事業名	県施行港湾改良等事業負担金
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
県施行事業による市内港湾区域の整備効果として表される。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
兵庫県と協議、調整しながら事業を継続していく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155004000-012	事務事業名	水防・水難救助事務事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
<b>指標で表せない成果</b>						
漂流物の処分等は毎年実施しており、その量の大小、数量等で事業の成果をはかれるものではない。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
本事業は水難救護法等の規定により実施している事業である。また、予算は最低限の費目の計上に留めており、事業として効率化が図られているため、これまでどおり事業を継続していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	コミュニティ交通運行事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155101000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	土木費						
	<b>項</b>	都市計画費	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通政策課				
	<b>目</b>	都市計画総務費	<b>連絡先</b>	(078)918-5035				
	<b>事業</b>	コミュニティ交通運行事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 16 年度		
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	道路運送法					
	5-2 交通体系の構築							
<b>個別計画</b>	総合交通計画	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
			委託		指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	コミュニティバス(たこバス)
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	コミュニティバス(たこバス)を運行し、交通不便地域の縮減、移動制約者の移動手段の確保等を図る。

<b>事業内容</b>	コミュニティバス(たこバス)	運行時間: 概ね7時~21時
	便数: 概ね1時間に1便	運賃: 大人100円・小人50円
	運行事業者: ルート	神姫バス: ①西明石北 ②西明石南 ⑤谷八木 ⑥江井ヶ島
		山陽バス: ⑦西江井ヶ島 ⑩青葉台 ⑪清水 ⑫西岡東 ⑮二見
		明正キャブ: ③松陰 ④大久保南
		明石タクシー: ⑧金ヶ崎 ⑨錦が丘
		ルミナスタクシー: ⑬西岡西 ⑭清水西
	<b>【年間利用者数】</b>	H20年度 717,971人/年 H21年度 782,422人/年 H22年度 867,412人/年 H23年度 919,859人/年
		H24年度 971,742人/年 H25年度 1,019,993人/年 H26年度 1,009,793人/年(見込み)
	<b>【年度別1日当りの平均利用者数】</b>	H19年度(11月~)1,605人/日 H20年度 1,967人/日 H21年度 2,144人/日 H22年度 2,376人/日 H23年度 2,513人/日
		H24年度 2,662人/日 H25年度 2,795人/日 H26年度 2,767人/日(見込み)
	交通不便地域の縮減や移動制約者の移動手段の確保等を基本コンセプトとして、平成19年11月から路線拡大し運行している。柔軟なルート・ダイヤの見直しや、マップの配布、エコファミリー制度、各種キャンペーン(スタンプラリー・ビンゴ)やイベントの実施など利用促進を行い、また利用者の利便性向上を図ることにより、毎年の利用者数は順調に増加している。	
	なお、見直しをしても利用者数の増加が見られなかった新小谷ルートは、平成21年3月に路線を廃止した。また、平成24年度に見直した総合交通計画の中で位置付けたコミュニティバスの展開方針に基づき路線の改廃を進めており、平成26年4月からは、二見及び西明石南ルートを見直し、15ルートで運行している。	

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	180,415	26,500	206,915	4,547	0	0	202,368	正規	2.00	パート	0.00
25当初予算	178,595	22,050	200,645	4,080	0	0	196,565	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	179,204	22,050	201,254	4,047	0	0	197,207	任期付	0.50	合計	2.50
26当初予算	162,860	17,700	180,560	3,280	0	0	177,280				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	事務用品等	1,097		26	旅費	近接地旅費等
使用料及び賃借料	コミュニティバス(たこバス)運行に伴う借地料等	282		需用費	事務用品等	635	
負担金補助及び交付金	コミュニティバス(たこバス)運行補助金	177,825		使用料及び賃借料	コミュニティバス(たこバス)運行に伴う借地料	290	
				負担金補助及び交付金	コミュニティバス(たこバス)運行補助金	161,885	
	<b>合計</b>		179,204		<b>合計</b>		162,860

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155101000-001	事務事業名	コミュニティ交通運行事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	コミュニティバス(たこバス)の利用者数	全路線一日あたりの利用者数を算出 (利用者数)=(全路線の年間の利用者総数)÷365日	人/日	2,662	2,795	2,767
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバス(たこバス)が鉄道駅と出発地や目的地とを結ぶ交通として機能することによって、利用しやすい交通ネットワークが形成され、公共交通全体の利用促進につながり、鉄道や路線バスなどの既存公共交通機関の維持と発展を図ることができる。</li> <li>・コミュニティバス(たこバス)の運行によって、通院や買い物など移動制約者の移動を確保するなど、高齢化社会に対応した公共交通の役割を担っている。</li> </ul>						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性				×		
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<p>路線については改廃スキームに沿って、路線の見直しや廃止を進める。また、受益者負担の適正化の取り組みに合わせて、料金の見直しについて検討する。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	交通政策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155101000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	土木費		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通政策課				
	<b>項</b>	都市計画費	<b>連絡先</b>	(078)918-5035					
	<b>目</b>	都市計画総務費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 17 年度			
	<b>事業</b>	交通政策事業	<b>根拠法令・要綱等</b>						
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	5-2 交通体系の構築			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	総合交通計画								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	交通体系
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	平成24年度に見直した総合交通計画に基づき、公共交通の利用促進を基本とし、時代の変化に対応した誰もが安全で円滑に移動できる交通体系を確立する。
<b>事業内容</b>	鉄道・バス・海上交通などの公共交通について、利便性向上を図り、利用促進に取り組む。	
	<p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市総合交通計画(平成24年度改定版)に基づき、公共交通だけでなく自動車や自転車など、全ての移動手段を含め、それぞれが適切な役割分担のもとで連携した総合交通体系として計画を位置づけることで、過度に自動車に依存することなく、公共交通をはじめとするあらゆる交通手段を目的に応じて適切に選択し、移動できる交通環境づくりや生活スタイルを確立していく。</li> <li>・公共交通の利用促進を図るため、学校に対し出前講座の実施、バス沿線の施設などに対しては、公共交通の利用促進施策を実施し、マイカーからの転換を促す。</li> <li>・明石地区バス事業者協会とともに設置している「あかしバスに乗ろうプロジェクト!」を通じて、お試し乗車券やバスマップなど特典の提供により本市転入者を積極的に公共交通利用者に転換させるなど、公共交通の利用者増に向けた活動を行う。</li> <li>・路線バスのサービス水準の維持・向上を図り、市民の利便性向上に取り組むため、バスの利用実態調査等を実施する。</li> <li>・路線バスのノンステップバスやバスロケーションシステムの導入、運行赤字に対して、国・県と連携して補助を行う。</li> </ul>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	22,338	34,900	57,238	10,228	0	0	47,010	正規	4.00	パート	0.00
25当初予算	18,676	30,350	49,026	7,258	0	0	41,768	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	16,324	30,350	46,674	4,859	0	0	41,815	任期付	0.50	合計	4.50
26当初予算	22,407	34,100	56,507	7,054	10,000	0	39,453				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	地域公共交通会議等謝礼	79		240		
旅費	近接旅費等	451	391				
需用費	消耗品、印刷製本、被服費、食糧費	139	192				
委託料	交通特性データ分析及び交通課題の検討業務委託等	13,364	18,000				
負担金補助及び交付金	ノンステップバス導入補助金等	2,291	30				
			3,554				
<b>合計</b>			16,324	<b>合計</b>			22,407

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155101000-002	事務事業名	交通政策事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	コミュニティバス(たこバス)の利用者数	全路線一日あたりの利用者数を算出 (利用者数)=(全路線の年間の利用者総数)÷365日	人/日	2,662	2,795	2,767
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の利便性向上や利用促進施策の実施により、公共交通サービスの維持と拡充を図り、クルマに依存しなくとも暮らせる交通環境を目指すことは、高齢社会やコンパクトシティへのまちづくりに欠かせない要素である。</li> <li>・モビリティ・マネジメントなどにより、クルマから公共交通等への転換を促すことによって、公共交通の利用促進や環境対策につながる。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<p>平成24年度に見直しを実施した総合交通計画に基づき、平成34年において公共交通利用者数を約1億人/年(平成22年:9,329万人)とするため、着実に交通政策事業を展開していく。</p>					

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		魚住2号線道路事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0155102000 - 001		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	土木費		事業所管課	土木交通部交通政策室道路整備課				
	項	道路橋りょう費		連絡先	(078)918-5034				
	目	道路新設改良費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度		
	事業	魚住2号線道路事業		根拠法令・要綱等	道路法				
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-2 交通体系の構築			委託		指定管理		
個別計画		新たな道路整備プログラム							
事業の目的	対象（誰を・何を）								
	市道魚住2号線								
事業の目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	市内交通の機能を強化し、南北幹線道路の山手環状線から国道2号までのアクセス道路として整備することにより、道路の快適性や安全性の向上など、道路環境の改善を図る。								
事業内容	<全体> ①事業期間 H20～H28 ②概算事業費 972百万円 ③事業延長 300m 幅員 16.0m ④工事内容 道路改良工事 ⑤用地 4,235㎡ 補償 13件								
	<H20> ・用地測量 ・道路詳細設計 ・物件調査 他 <H21> ・用地測量 ・物件調査 ・用地買収 ・物件補償 他 <H22> ・用地測量 ・用地買収 ・物件補償 他 <H23> ・用地買収 ・地内道路設置、道路構築 <H24> ・用地買収 <H25> ・用地買収 ・物件補償 ・道路改良工事 <H26> ・道路改良工事								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	165,665	7,650	173,315	80,566	78,100	0	14,649	正規	1.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	199,350	8,500	207,850	95,500	103,800	0	8,550	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	166,932	8,500	175,432	80,549	72,400	0	22,483	任期付	0.00	合計	1.00
26当初予算	84,500	8,200	92,700	40,000	44,500	0	8,200				
25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額				
	需用費	事務用品	96		委託料	単価更正委託	2,000				
	工事請負費	道路構築	16,780		工事請負費	道路構築	82,500				
	公有財産購入費	用地購入	85,322								
	補償補填及び賠償金	物件移転補償	64,734								
	合計		166,932		合計	84,500					

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-001	事務事業名	魚住2号線道路事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	百万円	0	0	0
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
山手環状線(西工区)の進捗に合わせ平成28年度完成を目途に整備を図っていく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	道路新設改良事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 002		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計					
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	道路橋りょう費					
	<b>目</b>	道路新設改良費					
	<b>事業</b>	道路新設改良事業					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	5-2 交通体系の構築		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課			
<b>個別計画</b>			<b>連絡先</b>	(078)918-5034			
			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法			
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	地区道路・地区内道路
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	狭あい道路の整備に加えて、新設、改良することにより、地区内で発生した自動車交通を安全に効率良く幹線道路へと導き補完するとともに、利便性や安全性の改善を図る。

<b>事業内容</b>	<b>&lt;H23&gt;</b>	(補助事業) ・朝霧165線外20線道路改良工事 ・大久保73号線踏切拡幅等工事 ・朝霧駅前広場道路改良工事 (起債事業) ・大久保49号道路改良工事 ・魚住46号線道路補修工事 (単独事業) ・スマ切り改良事業 ・道路用地管理業務
	<b>&lt;H24&gt;</b>	(補助事業) ・明石市中心市街地地区 (起債事業) ・大久保49号道路改良工事 ・西明石27号線道路改良工事・藤江36号線道路改良工事・大久保49号線道路改良工事  ・魚住57号線道路改良工事 ・大久保99号線道路改良工事・二見44・210号線連絡道路工事 (単独事業) ・スマ切り改良事業 ・道路用地管理業務
	<b>&lt;H25&gt;</b>	(補助事業) ・明石市中心市街地地区 (単独事業) ・大久保49号道路改良工事 ・八木5号線測量委託 ・大久保136号線道路改良工事 ・道路用地管理業務
	<b>&lt;H26&gt;</b>	(補助事業) ・明石市中心市街地地区 (単独事業) ・魚住57号線道路改良工事 ・道路用地管理業務

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
24決算	128,306	27,100	155,406	22,311	73,400	0	59,695	正規	3.00	アハハ	0.00				
25当初予算	135,913	28,780	164,693	37,400	88,300	660	38,333								
25決算	108,887	28,780	137,667	26,110	25,600	0	85,957					再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	134,470	26,680	161,150	54,600	67,400	640	38,510					任期付	0.80	合計	3.80

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	詳細設計、用地測量等		10,538		委託料
	工事請負費	道路改良工事等	63,766		工事請負費	道路改良工事等	123,000
	公有財産購入費	用地購入	28,744		補償補填及び賠償金	物件移転補償	500
	その他	報償費、使用料、負担金、事務費等	5,839		その他	報償費、使用料、負担金、事務費等	9,970
	<b>合計</b>		108,887		<b>合計</b>		134,470

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-002	事務事業名	道路新設改良事業
------	----------------	-------	----------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	整備路線数	利便性・安全性の改善を図るための道路整備	路線	7	3	2
	<b>指標で表せない成果</b>					
地区内で発生した自動車交通を安全に、効率良く幹線道路へ導く。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
限られた財源の中で事業を行っていることの理解を求め、地元自治会等と綿密な協議等を行い、整備の優先順位などを踏まえて取り組んでいく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	狭あい道路整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 003		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	道路橋りょう費	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課			
	<b>目</b>	道路新設改良費	<b>連絡先</b>	(078)918-5034			
	<b>事業</b>	狭あい道路整備事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 22 年度	
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	建築基準法・道路法				
	5-2 交通体系の構築	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他
<b>個別計画</b>			委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b> 市内一円の狭あい道路
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b> 通風・採光・日照など良好な住環境を守るとともに、地震や火災等の災害時の避難・消防活動を助けるため狭あいな道路を解消する。

<b>事業内容</b>	事業内容 ・用地測量 ・道路拡幅工事 ・用地買収 ・物件補償 平成20年度実績 ・11件 平成21年度実績 ・11件 平成22年度実績 ・3件 平成23年度実績 ・11件 平成24年度実績 ・12件 平成25年度見込 ・15件 平成26年度予定 ・24件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	28,348	9,560	37,908	11,733	10,600	0	15,575				
25当初予算	36,000	10,580	46,580	14,500	21,500	0	10,580	正規	1.00	パート	0.00
25決算	29,784	10,580	40,364	28,262	0	0	12,102	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	46,000	12,360	58,360	19,800	26,200	0	12,360	任期付	1.60	合計	2.60

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		委託料	設計委託		13,297		委託料
	工事請負費	道路整備工事	10,522		工事請負費	道路整備工事	21,000
	公有財産購入費	用地購入	5,826		公有財産購入費	用地購入	14,000
	補償補填及び賠償金	物件等移転補償	139		補償補填及び賠償金	物件等移転補償	2,200
	<b>合計</b>		29,784		<b>合計</b>		46,000

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-003	事務事業名	狭あい道路整備事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	整備件数	整備件数の増加が災害に強い安全で安心なまちづくりを実現できる。	件	12	20	

### 指標で表せない成果

通行の利便性向上に加えて  
 ・通風、採光、日照等良好な住環境を守る  
 ・地震や火災等の災害時の避難・消防活動を助ける  
 など、良好な住環境の確保と都市機能の向上を図る

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						

### 現状の課題・今後の事業展開方針等

社会整備資本交付金により、狭隘事業を進めていく。

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	交通安全施設整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 004		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課		
	<b>項</b>	交通安全対策費		<b>連絡先</b>	(078)918-5034		
	<b>目</b>	交通安全施設整備費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明
	<b>事業</b>	交通安全施設整備事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法・バリアフリー新法		
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
	5-2 交通体系の構築		委託		指定管理		
<b>個別計画</b>	総合交通計画						

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	歩道等交通安全施設	
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	歩道の整備や歩道の段差解消などバリアフリー化を図ることにより、歩行者など交通弱者の安全を確保する。	
<b>事業内容</b>	<H23>	(補助事業) ・東二見駅周辺地区整備・小久保地区整備・明石市中心市街地地区 (単独事業) ・県道明石高砂線関連市道等安全対策・交通安全対策(交通安全総点検関係等) ・交通安全対策(交差点改良)	
	<H24>	(補助事業) ・朝霧165線外20線道路改良工事・朝霧165号線(朝霧駅前広場)・林船上41号線歩道改良工事 ・西明石185号線道路改良工事・大久保73号線外1線道路改良工事・大久保118号線道路改良工事 ・魚住25号線道路改良事業・二見5号線外1線道路改良工事・二見150号線道路改良事業 ・明石市道づくり計画の策定 (単独事業) ・県道明石高砂線関連市道等安全対策・交通安全対策(交通安全総点検関係等) ・交通安全対策(交差点改良)	
	<H25>	(補助事業) ・朝霧165号線(朝霧駅前広場)・朝霧165線外20線道路改良工事・南二見1号線外13路線舗装修繕 ・魚住25号線道路改良事業・二見5号線外10線道路改良工事・二見150号線道路改良事業 ・明石中央53号橋外7橋修繕・明石市東部8校区通学路安全対策・明石市西部3校区通学路安全対策 ・魚住25号線道路拡幅整備 (単独事業) ・県道明石高砂線関連市道等安全対策・隅切り事業	
	<H26>	(補助事業) ・朝霧165号線(朝霧駅前広場)・朝霧165線外20線道路改良工事・南二見1号線外13路線舗装修繕 ・魚住25号線道路改良事業(JR踏切拡幅)・二見5号線外10線道路改良工事・二見150号線道路改良事業 ・明石中央53号橋外7橋修繕・大久保地内道路外1線道路改良工事・市内通学路安全対策 ・踏切安全対策、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁点検 (単独事業) ・県道明石高砂線関連市道等安全対策・隅切り事業	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	120,518	27,370	147,888	56,749	48,100	0	43,039	正規	3.70	パート	0.00
25当初予算	450,522	35,850	486,372	217,250	218,900	0	50,222	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	229,673	35,850	265,523	118,660	87,500	0	59,363	任期付	0.80	合計	4.50
26当初予算	628,200	32,420	660,620	304,205	308,300	0	48,115				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	詳細設計等委託	14,119		委託料	詳細設計等委託	184,800
工事請負費	道路整備工事	138,158	工事請負費	道路整備工事	416,300		
公有財産購入費	用地購入	35,122	公有財産購入費	用地購入	13,000		
補償補填及び賠償金	物件移転補償	41,292	補償補填及び賠償金	物件移転補償	12,000		
その他	負担金、事務費等	982	その他	負担金、事務費等	2,100		
	<b>合計</b>		229,673		<b>合計</b>	628,200	

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-004	事務事業名	交通安全施設整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	交通事故死傷率の高い路線の整備数	交通事故死傷率により指定された路線の整備数	路線	10	10	12
	指標で表せない成果					
歩道の段差解消等バリアフリー化の推進により、高齢者や障害者をはじめ、すべての市民が安心して暮らせるようになる						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
安全安心のまちづくりの実現に向けて事業を進める。						

# 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あんしん歩行エリア整備事業(魚住地区)	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 005		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課			
	<b>項</b>	交通安全対策費	<b>連絡先</b>	(078)918-5034			
	<b>目</b>	交通安全施設整備費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 18 年度	
	<b>事業</b>	あんしん歩行エリア整備事業(魚住地区)	<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法			
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野 5-2 交通体系の構築	<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
<b>個別計画</b>	総合交通計画		委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>	JR魚住駅周辺地区内の道路等
	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>	交通管理者と道路管理者が一体となって面的かつ総合的な事故抑止対策を行うことにより、歩行者等の安全な通行を確保することを図る。

<b>事業内容</b>	<全体>	①事業期間 H21~H30 ②概算事業費 1040百万円 ③地区面積 165ha ④工事内容
		<ul style="list-style-type: none"> <li>i) 幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備</li> <li>ii) ゾーン対策: 歩車共存道路の整備、路側のカラー化や防護柵の設置等</li> </ul>
	<H21>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備(詳細設計、用地取得)</li> <li>・経路対策: 魚住18号線の歩車共存道路整備(歩道拡幅・交差点改良工事)</li> </ul>
	<H22>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備(用地取得)</li> <li>・経路対策: 魚住19号線の歩車共存道路整備(歩道拡幅・交差点改良工事)</li> </ul>
	<H23>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備(用地取得・物件移転補償・道路拡幅工事)</li> </ul>
	<H24>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備(用地取得・物件移転補償・道路拡幅工事)</li> <li>・魚住118号線外10線、魚住210号線交差点改良</li> </ul>
	<H25>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備(用地取得・物件移転補償)</li> <li>・魚住118号線外10線</li> </ul>
	<H26>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路対策: 魚住10,14号線【長坂寺線】の整備(用地取得・物件移転補償)</li> </ul>

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	78,448	7,650	86,098	41,465	33,700	0	10,933	正規	1.00	パート	0.00
25当初予算	110,200	8,500	118,700	57,200	53,000	0	8,500	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	62,429	8,500	70,929	32,934	21,600	0	16,395	任期付	0.00	合計	1.00
26当初予算	102,500	8,200	110,700	55,000	46,500	0	9,200				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	物件調査単価更正委託等	787		1,500		
工事請負費	歩道改良工事等	24,976	1,000				
公有財産購入費	用地買収	24,381	40,000				
補償補填及び賠償金	物件移転補償	12,285	60,000				
	<b>合計</b>		62,429		<b>合計</b>		102,500

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-005	事務事業名	あんしん歩行エリア整備事業(魚住地区)
------	----------------	-------	---------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	事業対象区間における安全で快適な歩行空間の利用者数	歩道整備等、安全対策を行った区間における安全で快適な空間を利用する歩行者数	人/12h	1,031	1,031	1,031
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
交付金等財源の確保、事業路線の緊急度を勘案し、一般財源の削減を図りながら、安全安心のまちづくりの実現に向け事業を展開していく						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	山陽電鉄連続立体交差第2期事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 006		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課		
	<b>項</b>	都市計画費		<b>連絡先</b>	(078)918-5034		
	<b>目</b>	山陽高架対策費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 13 年度
	<b>事業</b>	山陽電鉄連続立体交差第2期事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	都市計画法・踏切道改良促進法		
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>実施方法</b>	直営	補助・助成	その他	○
	5-2 交通体系の構築			委託	指定管理		
<b>個別計画</b>	新たな道路整備プログラム						

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	明石市内の鉄道、道路の利用者とその沿線地区住民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	道路交通の円滑化や電車運行の安全化とともに周辺市街地の生活環境や都市機能の向上が図られ、また、駅前広場・側道の整備などにより、地域の活性化を促進する。

<b>事業内容</b>	(経常予算)	都市計画決定：(当初) 昭和52年11月18日 :(変更) 平成13年10月23日
	事業認可：平成14年3月25日 事業期間：平成13(2001)年度～平成29(2017)年度	
	<b>【高架本体】(県事業)</b>	延長L=1,891m(明石川～林崎松江海岸駅)、除却踏切9箇所、交差道路9路線(うち都市計画道路4路線)
	<b>【大坪線】(市事業)</b>	W=14m L=150m 西新町駅前広場 A=約4,700㎡
	<b>【関連側道】</b>	(県事業)・4号線 L=350m ・5号線 L=430m ・6号線 L=280m ・11号線 L=190m (市事業)・7号線 L=430m ・8号線 L=270m ・10号線 L=330m
	<b>【事業経過】</b>	平成14年度～：測量調査・用地買収着手 平成19年度～：明石川橋梁工事着手 平成20年度～：保守基地移転完了 平成21年度～：仮線工事着手 平成23年度～：仮線切替(6/18)・高架本体工事着手(基礎杭) 平成24年度～：高架本体工事継続 平成25年度～：高架本体工事継続・山電沿線まちづくり協議会発足 平成26年度～：高架本体工事継続・山電沿線まちづくり協議会継続・駅前広場、側道詳細設計着手予定

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	715,544	8,500	724,044	0	682,300	0	41,744				
25当初予算	680,420	8,500	688,920	36,600	642,200	0	10,120	正規	1.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	525,331	8,500	533,831	17,965	454,000	0	61,866	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	536,592	11,480	548,072	35,500	499,600	0	12,972	任期付	0.00	合計	1.40

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	連立関連事業協議会支援業務委託	5,400		委託料	設計等(駅前広場、南北側道)	49,000
工事請負費	付帯工事、用地管理工事	2,788	工事請負費	付帯工事、用地管理工事	1,000		
負担金補助及び交付金	山陽電鉄連続立体交差第2期事業負担金等	517,039	負担金補助及び交付金	山陽電鉄連続立体交差第2期事業負担金等	486,167		
その他	事務費等	104	その他	事務費等	425		
<b>合計</b>			<b>525,331</b>	<b>合計</b>			<b>536,592</b>

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-006	事務事業名	山陽電鉄連続立体交差第2期事業
------	----------------	-------	-----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	事業区間内の踏切事故数	連続立体交差事業により、9箇所の踏切が除去されることにより、事業区間内の踏切事故を根絶することが出来る。	件	0	0	0
	移動時間の短縮	踏切遮断が解消されることにより、移動時間が短縮する。	時間	0	0	0
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・除去される踏切で遮断されていた道路交通の円滑化が図られることで、市内の交通ネットワーク機能が向上する。</li> <li>・高架化された駅のバリアフリー化が図られることで、公共交通利用者の利便性が向上する。</li> <li>・高架下空間の公共利用により、地域のまちづくりに寄与する。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>平成27年度の高架化を目標に、主に工事期間中の交通処理等について、関係機関と綿密に調整しながら事業を進めていく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	街路一般事務事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 007		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計					
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	都市計画費					
	<b>目</b>	街路事業費					
	<b>事業</b>	街路一般事務事業					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課			
	5-2 交通体系の構築		<b>連絡先</b>	(078)918-5034			
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法 都市計画法			
			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	都市計画道路等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	幹線道路等の整備を効率的に進めるため、その用地管理等を実施する。

<b>事業内容</b>	<H23> (単独事業) ・都市計画道路整備等にかかる事務的経費
	<H24> (単独事業) ・都市計画道路整備等にかかる事務的経費
	<H25> (単独事業) ・都市計画道路整備等にかかる事務的経費
	<H26> (単独事業) ・都市計画道路整備等にかかる事務的経費

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	971	7,230	8,201	0	0	0	8,201	正規	0.40	パート	0.00
25当初予算	1,097	6,380	7,477	0	0	0	7,477	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	777	6,380	7,157	0	0	0	7,157	任期付	0.60	合計	1.00
26当初予算	995	4,840	5,835	0	0	0	5,835				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	近接地旅費等	54		200		
需用費	事務用品、被服購入費、地元説明会お茶等	93	70				
負担金補助及び交付金	研修出席負担金等	630	725				
	<b>合計</b>	<b>777</b>	<b>995</b>				

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-007	事務事業名	街路一般事務事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	都市計画道路の整備率	都市計画道路の整備を目的とした事務経費であるので、進捗率を指標とする。	%	59	59	61
	指標で表せない成果					
事務的経費が各都市計画道路整備事業にもたらした効果。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
継続して実施する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	街路整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 008			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	土木費	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課				
	<b>項</b>	都市計画費	<b>連絡先</b>	(078)918-5034				
	<b>目</b>	街路事業費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明		
	<b>事業</b>	街路整備事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法 都市計画法				
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	5-2 交通体系の構築		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
<b>個別計画</b>								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	都市計画道路等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	幹線道路等の整備を効率的に進めるため、事業用地等を適正かつ安全に管理する。

<b>事業内容</b>	<H23> (単独事業) ・事業用地管理委託、工事 ・物件調査単価更正委託 ・測量分筆登記委託
	<H24> (単独事業) ・事業用地管理委託、工事 ・物件調査単価更正委託 ・測量分筆登記委託
	<H25> (単独事業) ・事業用地管理委託、工事 ・物件調査単価更正委託 ・測量分筆登記委託
	<H26> (単独事業) ・事業用地管理委託、工事 ・物件調査単価更正委託 ・測量分筆登記委託

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	10,570	6,210	16,780	0	0	0	16,780	正規	0.60	パート	0.00
25当初予算	13,390	6,210	19,600	0	0	0	19,600	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	2,447	6,210	8,657	0	0	0	8,657	任期付	0.20	合計	0.80
26当初予算	16,216	5,440	21,656	0	0	0	21,656				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	用地測量、分筆登記、用地管理	897		26年度	役員費	不動産鑑定手数料
使用料及び賃借料	事務費	530	26年度	委託料	用地測量、分筆登記、用地管理	5,986	
工事請負費	用地管理フェンス工事	874	26年度	使用料及び賃借料	事務費	1,750	
その他	報償費、旅費、需用費、備品購入費	146	26年度	工事請負費	用地管理フェンス工事	7,000	
			26年度	その他	報償費、旅費、需用費、備品購入費	980	
	<b>合計</b>		<b>2,447</b>		<b>合計</b>		<b>16,216</b>

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-008	事務事業名	街路整備事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	点検での改善点	5月、7月、12月に行う施設一斉点検における異常箇所数	箇所	1	1	0
	指標で表せない成果					
近隣住民にわかりやすく、円滑な事業の推進。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
財源の確保、事業路線の緊急度を勘案し、一般財源の削減を図りながら、事業を展開していく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-009	事務事業名	県施行街路事業負担金
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	百万円	0	0	0
	指標で表せない成果					
黒橋線及び朝霧二見線など市内の拠点交通を担う都市計画道路の整備により、安全安心のまちづくりを推進する						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
県から事業についての資料提供を受け、負担内容を精査確認しながら本事業を進めていく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	山手環状線街路事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 010		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	都市計画費					
	<b>目</b>	街路事業費					
	<b>事業</b>	山手環状線街路事業					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課				
	5-2 交通体系の構築		<b>連絡先</b>	(078)918-5034			
<b>個別計画</b>	新たな道路整備プログラム	<b>自治/法定</b>		自治事務		<b>開始年度</b>	平成 16 年度
			<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法 都市計画法			
<b>実施方法</b>	直営	○		補助・助成		その他	
	委託		指定管理				

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	都市計画道路等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	東西の交通機能を強化し、交通利便性の向上を図るため、市内の拠点間交通を担う都市計画道路山手環状線の整備拡充を推進する。

<b>事業内容</b>	<全体>	①事業期間 H16～H28 ②概算事業費 2,700百万円 ③事業延長 858m 幅員 16.0m ④工事内容 道路改良工事 ⑤用地 10,738㎡ 補償 66件
	<H20>	(補助事業)・事業用地購入・物件移転等補償・物件調査委託・中工区道路新設工事
<H21>	(補助事業)・事業用地購入・物件移転等補償・物件調査委託・道路新設工事 (単独事業)・用地管理委託・附帯工事	
<H22>	(補助事業)・橋梁下部工事・事業用地購入・物件移転等補償	
<H23>	(補助事業)・事業用地購入・物件移転等補償・道路新設工事 (地特事業)・附帯工事 (単独事業)・取付申請書作成委託・取付道路工事・用地買収	
<H24>	(補助事業)・事業用地購入・物件移転等補償・道路新設工事 (地特事業)・附帯工事 (単独事業)・取付道路工事・用地買収	
<H25>	(補助事業)・事業用地購入・物件移転等補償・道路新設工事 (単独事業)・附帯工事・用地買収	
<H26>	(補助事業)・事業用地購入・物件移転等補償・道路新設工事 (単独事業)・附帯工事	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	204,007	8,500	212,507	99,467	95,500	0	17,540				
25当初予算	269,200	9,350	278,550	135,025	134,100	0	9,425	正規	1.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	122,504	9,350	131,854	56,898	39,800	0	35,156	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	272,500	9,020	281,520	137,500	135,000	0	9,020	任期付	0.00	合計	1.10

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	用地測量等	7,538		委託料	用地測量等	8,500
工事請負費	道路新設工事等	59,617	工事請負費	道路新設工事等	187,800		
公有財産購入費	用地購入	40,630	公有財産購入費	用地購入	37,000		
補償補填及び賠償金	物件移転補償	13,367	補償補填及び賠償金	物件移転補償	38,000		
使用料及び賃借料	ヤード借地料等	1,154	使用料及び賃借料	ヤード借地料等	1,200		
その他	事務費	198					
<b>合計</b>			122,504	<b>合計</b>			272,500

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-010	事務事業名	山手環状線街路事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	百万円	0	0	0
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
用地取得率100%に向けて交渉を進め、同時に赤根川の橋梁工事、道路新設工事を計画的に進めていく。 西工区は、魚住2号線と進捗を合わせ平成28年度完成を目標に整備を図っていく。						

# 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	八木松陰線街路事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155102000 - 011		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	都市計画費					
	<b>目</b>	街路事業費					
	<b>事業</b>	八木松陰線街路事業					
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室道路整備課				
	5-2 交通体系の構築		<b>連絡先</b>	(078)918-5034			
<b>個別計画</b>	新たな道路整備プログラム	<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 17 年度	
		<b>根拠法令・要綱等</b>	道路法 都市計画法				
<b>実施方法</b>		直営	○	補助・助成		その他	
		委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	都市計画道路等
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	JRや山陽電鉄と交差する都市計画道路八木松陰線を整備することによって、市内の南北交通の円滑化を図る。

<b>事業内容</b>	<全体>	①事業期間 H17～H27 ②概算事業費 4,000百万円 ③事業延長 586m 幅員 16.0m ④工事内容 道路改良工事 ⑤用地 6,176㎡ 補償 39件
	<H20> (補助事業)	・事業用地取得 ・物件調査委託 ・谷八木架道橋拡幅詳細設計委託
<H21> (補助事業)	・事業用地取得 ・道路改良工事 ・谷八木架道橋拡幅工事委託 (起債事業) ・道路改良附带工事 ・事業用地購入 (単独事業) ・用地管理委託 ・用地管理工事	
<H22> (補助事業)	・事業用地取得 ・道路改良工事 ・山電工事委託	
<H23> (補助事業)	・事業用地購入 ・物件移転等補償 ・道路新設工事・山電工事委託 (地特事業) ・附带工事 (単独事業) ・取付道路工事 ・用地買収	
<H24> (補助事業)	・道路新設工事・山電工事委託 (地特事業) ・附带工事 (単独事業) ・取付道路工事 ・用地買収	
<H25> (補助事業)	・山電工事委託 (単独事業) ・附带工事 ・用地買収 ・詳細設計	
<H26> (補助事業)	・山電工事委託・道路新設工事 (単独事業) ・附带工事 ・用地買収 ・詳細設計	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	562,696	8,500	571,196	296,937	242,900	0	31,359				
25当初予算	325,450	9,350	334,800	169,400	156,000	0	9,400	正規	1.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	563,777	9,350	573,127	301,350	241,900	0	29,877	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	245,000	9,020	254,020	126,500	113,500	0	14,020	任期付	0.00	合計	1.10

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	立体交差部拡幅工事(山電委託)等	530,685		委託料	立体交差部拡幅工事(山電委託)等	77,000
工事請負費	道路新設工事	24,371	工事請負費	道路新設工事	159,500		
使用料及び賃借料	ヤード借地料等	8,222	使用料及び賃借料	ヤード借地料等	8,500		
その他	事務費	499					
<b>合計</b>			563,777	<b>合計</b>			245,000

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-011	事務事業名	八木松陰線街路事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
		走行時間短縮便益	目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	百万円	0	0
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
県道明石高砂線の拡幅工事の進捗と調整を図りながら山陽電鉄立体交差委託を進めていく。 関連事業である県道明石高砂線の進捗を合わせ平成27年度末完成目途に整備を図っていく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-012	事務事業名	道路維持補修事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	橋梁の修繕数	修繕計画に則り、平成22年度から5年間で実施する緊急修繕数(全8橋)	件	2	0	/
	舗装修繕路線数	修繕計画においての重要路線数	件	1	1	
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成25年度限りで休廃止						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155102000-013	事務事業名	あんしん歩行エリア整備事業(明石駅周辺地区)
------	----------------	-------	------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	事業対象区間における安全で快適な歩行空間の利用者数	歩道整備等、安全対策を行った区間における安全で快適な空間を利用する歩行者数	人/12h	53,577	/	/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成25年度限りで休廃止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成25年度限りで休廃止						

# 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	交通安全啓発・教育事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0155103000 - 001			
		分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	款	土木費		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通安全課			
	項	交通安全対策費			<b>連絡先</b>	(078)918-5036		
	目	交通安全対策総務費		<b>自治/法定</b>		自治事務	開始年度	昭和 43 年度
	事業	交通安全啓発・教育事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	交通安全対策基本法 明石市交通安全対策会議条例				
	4-1 防災・生活安全対策の推進			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
<b>個別計画</b>	交通安全計画							
			委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	交通安全意識を向上させ、交通事故防止を図る。

<b>事業内容</b>	①明石市交通安全対策会議の運営 交通事故のない明石を目指して、交通安全計画(H23～H27)及び交通安全実施計画(毎年)を作成し、市内の交通安全対策を総合的かつ計画的に推進する。【構成】会長：明石市長、委員：警察、国・県の関係機関職員、市民代表等、特別委員：西日本旅客鉄道㈱、山陽電気鉄道㈱の職員
	②明石市交通安全推進協議会の運営 市内の四季の運動(春・秋の全国交通安全運動、夏・年末の交通事故防止運動)を推進し、「交通安全宣言式」や啓発キャンペーン等を主催する。【構成】会長：明石市長、副会長：明石交通安全協会長・明石自家用自動車協会長、相談役：明石警察署長、委員：教育関係者、市内団体代表等
③交通安全協会へ交通安全教室等委託 保育所、幼稚園、小学校、高齢者団体等を対象に、交通安全講話、腹話術、視覚教材(ビデオ等)等、講習や歩行練習、自転車走行練習等の実技指導を行う。※実施回数 H23:49回(10,025名参加) H24:62回(13,473名参加)H25:62回(14,028名参加)	
④出前講座の実施 平成25年度に雇用した交通指導員が、子ども会や自治会、高年クラブ等において交通安全教室を実施する。H25:58回	
⑤明石市交通安全シルバーリーダーの養成 平成26年度は、平成25年度から引き続き従事するリーダーと公募したリーダーで、高齢者の交通安全について地域と連携して取り組む。	
⑥街頭広報及び街頭啓発 明石駅前交差点をはじめ人の往来、交通量の多い箇所や交通事故多発交差点付近で、毎月1回(15日)に通行人に啓発用品を配布するとともに、ドライバーにはのぼり旗等により交通事故防止を呼びかける。	
⑦交通安全啓発用品等配布 4月に、新1年生、4歳児に反射材と啓発チラシを配布する。その他交通安全教室開催時に、反射材等を配布。中、高校生に自転車の安全利用に関する啓発チラシや、乳幼児健診時に啓発チラシの配布を行う。また緊急時等にも、その都度啓発チラシ等を配布する。	
⑧その他 交通安全ビデオ貸出業務等を行う。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	10,292	21,720	32,012	0	0	0	32,012	正規	3.10	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	9,552	25,120	34,672	0	0	0	34,672	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	9,178	25,120	34,298	0	0	0	34,298	任期付	1.90	合計	5.00
26当初予算	8,960	30,360	39,320	467	0	0	38,853				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	交通安全対策会議謝礼	88		報償費	交通安全対策会議謝礼	128
旅費	近接地旅費ほか	126	旅費	近接地旅費ほか	100		
需用費	交通安全啓発用品、ほか	1,199	需用費	交通安全啓発用品、ほか	753		
役務費	交通安全横断幕取り付け費用ほか	34	役務費	交通安全横断幕取り付け費用ほか	64		
委託料	交通安全教室等業務委託	7,701	委託料	交通安全教室等業務委託	7,850		
負担金補助及び交付金	交通大学受講料	30	その他	使用料及び借地料と負担金補助金及び交付金	65		
<b>合計</b>			9,178	<b>合計</b>			8,960

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-001	事務事業名	交通安全啓発・教育事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	明石市内交通事故発生件数	明石市内交通事故発生件数(暦年)	件	1,828	1,768	1,620
	交通安全教室開催数	交通安全教室開催数	件	72	120	120
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発チラシ配布等による交通ルールやマナーの周知度合</li> <li>・交通安全意識の向上</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×			
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>交通安全協会に委託して実施する交通安全教室等について、H25年度から市で直接雇用した交通指導員を活用することにより、委託金額を10%程度削減する方向で見直す(700千円減)。</p> <p>「明石市交通安全計画(H23年度策定)」に基づき「H26年度明石市交通安全実施計画」を作成し、関係機関との連携のもと交通事故減少に向け、引き続き取り組む。なかでも、後部座席シートベルトを含めた全席シートベルト着用率向上をめざして、「シートベルト100%プロジェクト」と銘打ち、様々な啓発活動を実施する。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	交通事故相談事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155103000 - 002		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	交通安全対策費	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通安全課			
	<b>目</b>	交通安全対策総務費	<b>連絡先</b>	(078)918-5036			
	<b>事業</b>	交通事故相談事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 48 年度	
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>				
	4-1 防災・生活安全対策の推進						
<b>個別計画</b>	交通安全計画		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
				委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	交通事故当事者（被害者、加害者等）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	交通事故相談に応じ、適正な救済措置等について助言する。

<b>事業内容</b>	①交通事故相談業務 日時：毎週水曜日 午前10時～午後4時（受付時間は午後3時まで） 場所：市民相談室
	②交通事故相談員 1名 ③報償費 1回9,800円
	交通事故相談受理件数 H20 136件 H21 153件 H22 156件 H23 157件 H24 132件 H25 129件

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	483	1,680	2,163	0	0	0	2,163	正規	0.35	パート	0.00
25当初予算	586	3,165	3,751	0	0	0	3,751	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	535	3,165	3,700	0	0	0	3,700	任期付	0.10	合計	0.45
26当初予算	576	3,130	3,706	0	0	0	3,706				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	交通事故相談員謝礼	500		報償費	交通事故相談員謝礼	490
旅費	近接地旅費ほか	32	旅費	近接地旅費ほか	44		
需用費	事務用消耗品ほか	3	需用費	事務用消耗品ほか	8		
			負担金補助及び交付金	研修会出席負担金	34		
	<b>合計</b>	<b>535</b>		<b>合計</b>	<b>576</b>		

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-002	事務事業名	交通事故相談事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	相談件数	交通事故相談に訪れる件数	件	132	129	130

### 指標で表せない成果

交通事故相談により、交通事故の問題の解決。  
交通事故の相談にのってもらうことによる、相談者の心理的負担の軽減。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

### 現状の課題・今後の事業展開方針等

弁護士資格を持った職員が行うことで、報償費を削減することができる。

# 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	放置自転車対策事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155103000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計						
	<b>款</b>	土木費						
	<b>項</b>	交通安全対策費						
	<b>目</b>	交通安全対策総務費						
	<b>事業</b>	放置自転車対策事業						
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通安全課				
	5-2 交通体系の構築		<b>連絡先</b>	(078)918-5036				
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 2 年度		
			<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市自転車等の放置の防止並びに市立自転車駐車場の設置及び管理に関する条例				
<b>実施方法</b>			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	自転車等の放置対策に関する全般的な施策を実施することにより、歩行者等の通行の安全と円滑化を図り良好な生活環境を確保する。

<b>事業内容</b>	①駅周辺などに放置された自転車が交通を阻害しているため、受け皿としての駐輪場を設置する一方、条例に基づき放置自転車等の移動・保管・返還・処分を行っている。 ②平日に加え、日曜・祝日における市内主要駅の禁止区域・準禁止区域の放置自転車等の移動と指導啓発を継続して行っている。	
	<b>【実績】</b>	撤去台数 H20 自転車 8,123 台 原付 633 台 H21 自転車 7,901 台 原付 612 台 H22 自転車 6,618 台 原付 552 台 H23 自転車 5,652 台 原付 558 台 H24 自転車 4,916 台 原付 431 台 H25 自転車 3,846 台 原付 392 台 H26(7月末) 自転車 1,274 台 原付 139 台
	駐輪場整備及び禁止区域拡大 H25.1 明石駅南第2自転車駐車場(79台) 供用開始 H25.4 明石駅中央第3自転車駐車場(81台) 供用開始 H25.4 明石駅周辺自転車等放置禁止区域 拡大	
	【予定】 H26年度中 JR西明石駅有料駐輪場 (30台) / (公財)自転車駐車場整備センター 山陽西江井ヶ島駅無料駐輪場 (約70台) / 明石市	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	39,947	302,000	341,947	0	0	8,111	333,836	正規	17.40	パート	0.00
25当初予算	50,326	265,205	315,531	0	0	7,501	308,030	再任用	11.25	その他	2.00
25決算	28,557	265,205	293,762	0	0	6,538	287,224	任期付	21.25	合計	51.90
26当初予算	52,391	241,580	293,971	0	0	7,000	286,971				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	放置自転車対策審議会委員報酬(11名分)	79		報酬	放置自転車対策審議会委員報酬(11名分)	218
旅費	全自連総会及び研修会旅費、近接地旅費	144	旅費	全自連総会及び研修会旅費、近接地旅費	161		
需用費	放置自転車対策用資材、修繕料、保管庫光熱水費	5,043	需用費	放置自転車対策用資材、修繕料、保管庫光熱水費	6,350		
役務費	郵便料、電信電話料、火災保険料等	812	役務費	郵便料、電信電話料、火災保険料等	1,015		
委託料	自転車等整理、機械警備、システム保守、放置自転車破砕委託	22,440	委託料	自転車等整理、機械警備、システム保守、放置自転車破砕委託	43,497		
負担金補助及び交付金	全自連総会及び研修会負担金、安全運転管理者講習受講	39	その他	使用料及び賃借料、備品購入費、負担金補助及び負担金	1,150		
<b>合計</b>			28,557	<b>合計</b>			52,391

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-003	事務事業名	放置自転車対策事業
------	----------------	-------	-----------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	放置自転車台数	隔年で実施する内閣府調査及び担当課で同様の条件下で実施する各駅周辺の調査時における路上放置台数調査による	台	1,046	756	700
	<b>指標で表せない成果</b>					
市民の意識改革が図られる。 駅周辺の歩行空間の安全性と快適性が向上する。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×		×
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
放置自転車等の防止のための啓発等を行い、安全で快適な歩行空間の確保に努める。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	自転車駐車場管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155103000 - 004		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	土木費					
	<b>項</b>	交通安全対策費	<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通安全課			
	<b>目</b>	交通安全対策総務費	<b>連絡先</b>	(078)918-5036			
	<b>事業</b>	自転車駐車場管理運営事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 2 年度	
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市自転車等の放置の防止並びに市立自転車駐車場の設置及び管理に関する条例				
	5-2 交通体系の構築						
<b>個別計画</b>		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	駅周辺における自転車利用者
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市内各駅駐輪場を、円滑に効率よく運営する。放置自転車対策とあわせて、駅周辺に駐輪される自転車を收容することで、自転車の秩序ある利用を促し、快適で安全な歩行者空間の確保を図る。

<b>事業内容</b>	①無料駐輪場：13箇所（3,397台收容）。市内山陽電鉄各駅前等に無料駐輪場を設置している。 ②有料駐輪場：38箇所（21,549台收容）。市内JR各駅及び山陽東二見駅前に（公財）自転車駐車場整備センターと連携し有料駐輪場を設置している。
	<b>【実績】</b> 駐輪場整備及び禁止区域拡大 H25.1 明石駅南第2自転車駐車場（79台） 供用開始 H25.4 明石駅中央第3自転車駐車場（81台） 供用開始 H25.4 明石駅周辺自転車等放置禁止区域 拡大  <b>【予定】 H26年度中</b> JR西明石駅有料駐輪場（30台） / （公財）自転車駐車場整備センター 山陽西江井ヶ島駅無料駐輪場（約70台） / 明石市

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	5,657	2,100	7,757	0	0	13,399	-5,642	正規	1.05	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	5,964	10,890	16,854	0	0	13,520	3,334	再任用	0.25	その他	0.00
25決算	4,922	10,890	15,812	0	0	13,212	2,600	任期付	0.25	合計	1.55
26当初予算	5,964	10,110	16,074	0	0	13,212	2,862				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	使用料及び賃借料	土地及び施設使用料	4,754		使用料及び賃借料	土地及び施設使用料	4,964
工事請負費	無料自転車駐車場補修工事費	168	工事請負費	無料自転車駐車場補修工事費	1,000		
<b>合計</b>			4,922	<b>合計</b>			5,964

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-004	事務事業名	自転車駐車場管理運営事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	放置自転車台数	隔年で実施する内閣府調査及び担当課で同様の条件下で実施する各駅周辺の調査時における路上放置台数調査による	台	1,046	756	700
	指標で表せない成果					
駅周辺の歩行空間の安全性と快適性が向上する						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
駐輪需要を勘案して適宜駐輪場の整備を進めるとともに、引き続き、管理する駐輪場の補修等を行い、適切な管理運営に努める。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	自転車駐車場整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0155103000 - 005				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計							
	<b>款</b>	土木費							
	<b>項</b>	交通安全対策費							
	<b>目</b>	交通安全施設整備費							
	<b>事業</b>	自転車駐車場整備事業							
<b>施策分野</b>	5 都市基盤整備分野		<b>事業所管課</b>	土木交通部交通政策室交通安全課					
	5-2 交通体系の構築		<b>連絡先</b>	(078)918-5036					
<b>個別計画</b>			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 57 年度			
			<b>根拠法令・要綱等</b>	自転車等の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律					
			<b>実施方法</b>	直営		<b>補助・助成</b>		<b>その他</b>	
				委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	駅周辺における自転車利用者
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	自転車・原付の駐輪施設を整備することにより、交通の円滑化、事故の防止と併せて自転車等利用者の利便性の増進を図る。
<b>事業内容</b>	①無料駐輪場は市が整備を行い、有料駐輪場は、(公財)自転車駐車場整備センターと連携し(※)整備を行う。 ※整備センターが補助・借入等を行い資金を調達し整備するため、自治体は負担金(建設費の一部)の支払いのみ(ランニングコスト不要)で、整備が可能である。建物完成後の所有権並びに管理運営は整備センターとなるが、建設費の償還完了後は市へ無償譲渡される、市の負担が少ない整備手法。	
	<b>【近年の駐輪場整備実績】</b> (公財)自転車駐車場整備センターと連携し整備 H21.10 西明石駅北自転車駐車場(2,209台) H24.5 朝霧駅バイク駐車場(760台) H24.12 明石駅東自転車駐車場リニューアル(1,944台)	
市整備 H23.11 中八木駅自転車駐車場(約250台) H24.12 山陽魚住駅仮設駐輪場(北)(約70台)		
<b>【H26駐輪場整備予定】</b> (公財)自転車駐車場整備センターと連携し整備 JR西明石駅有料駐輪場 (約30台)		
市整備 山電西江井ヶ島駅無料駐輪場 (約70台) 明石市 なお、江井ヶ島駅についても鉄道事業者等と協議のうえ、駐輪場の整備について今後検討する。		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)											
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源												
24決算	3,744	3,780	7,524	0	0	0	7,524	正規	1.05	アハハ	0.00								
25当初予算	0	0	0	0	0	0	0					再任用	0.25	その他	0.00				
25決算	0	0	0	0	0	0	0									任期付	0.25	合計	1.55
26当初予算	3,450	10,110	13,560	0	0	0	13,560												
<b>25年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>												
						委託料	山陽電鉄西江井ヶ島駅自転車駐車場整備委託	3,450											
<b>合計</b>			0	<b>合計</b>			3,450												

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-005	事務事業名	自転車駐車場整備事業
------	----------------	-------	------------

<b>事業の成果</b>	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	有料駐輪場施設数	整備した有料駐輪場施設数の推移	箇所	36	38	39
	有料駐輪場収容台数	整備した有料駐輪場施設の収容台数の推移	台	21,716	21,642	21,549
	<b>指標で表せない成果</b>					
駅周辺の歩行空間の安全性と快適性が向上する。						

<b>事業の評価・今後の方向性</b>	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
駐輪需要に応じて整備を進めていく。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-006	事務事業名	明石駅前駐車場維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	利用台数	明石駅前立体駐車場の1年間の利用台数	台	195,020	210,818	218,000
	受託歳入額	明石駅前立体駐車場の1年間の受託歳入額	円	86,812,090	94,605,030	98,000,000
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車利用者の利便性の向上</li> <li>・明石駅周辺の道路環境の向上</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>より効率的な運営を図るとともに、必要な補修・改修等を遅滞なく行うなど、指定管理者との意思疎通を強化し、使用者の利便性を向上させる。</p>						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-007	事務事業名	交通安全啓発(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	自転車事故件数	自転車に関する事故件数(暦年)	件	463	426	/
						/
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成25年度限りで休廃止						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	違法駐車防止対策事業		新規/継続	H25休廃止	整理番号	0155103000 - 008				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容							
	款	土木費	事業所管課	土木交通部交通政策室交通安全課						
	項	交通安全対策費	連絡先	(078)918-5036						
	目	交通安全対策総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 6 年度				
	事業	違法駐車防止対策事業	根拠法令・要綱等							
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法		直営	○	補助・助成	○	その他	
		5-2 交通体系の構築			委託		指定管理			
個別計画										

事業の目的	対象（誰を・何を）	違法駐車車両
	意図（どういう状態にしたいのか）	広報・啓発等を行うことにより違法駐車を減少させ、道路機能の維持・改善に努める。
事業内容	車両巡回、広報啓発等により、違法駐車防止を図る。また、明石地域交通安全活動推進委員協議会とともに、年4回、桜町周辺の夜間パトロールを行い、違法駐車車両に啓発ステッカーの貼り付けを行う。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	726	63,800	7,106	0	0	0	7,106	正規	パート	その他	
25当初予算	489	11,930	12,419	0	0	0	12,419				
25決算	335	11,930	12,265	0	0	0	12,265				
26当初予算											再任用
25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額				
		需用費	72								
		使用料及び賃借料	8								
		負担金補助及び交付金	255								
	合計		335		合計						

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0155103000-008	事務事業名	違法駐車防止対策事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	違法駐車台数(明石駅周辺)	明石駅周辺の徒歩啓発巡回時における、1回あたりの駐車禁止ステッカー貼り付け台数	台	9	8	/
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成25年度限りで休廃止						